

情報統計領域資料
統 労 第 8 6 号
平 成 2 0 年 3 月 刊 行

福島県の推計人口

(福島県現住人口調査年報)

平成19年版

福島県企画調整部情報統計領域

はしがき

この報告書は、毎月公表している「福島県の推計人口（福島県現住人口調査月報）」の平成19年分について取りまとめたものです。

平成19年の本県人口は、平成10年から10年連続の減少となりました。

また、全60市町村のうち、56市町村で人口が減少し、都市部やその周辺での増加、会津方部や阿武隈地域での減少という傾向も引き続きみられました。

本書では、県人口の構造や移動の状況等を総体的に把握することを目的に編集しており、各種行政施策の企画・立案に携わる方々をはじめ、多くの皆様に有効に御利用いただければ幸いです。

終わりに、毎月この調査に御協力をいただいている市町村の皆様に深くお礼申し上げますとともに、今後とも一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成20年3月

福島県企画調整部長

目 次

I	調査の概要	1
II	利用上の注意	2
III	用語の解説	2
IV	結果の概要	
第1	県人口	
1	総人口及び世帯数	7
2	県人口及び世帯数の推移	7
3	年齢別人口	
(1)	年齢3区分別人口	9
(2)	年齢構造指数の推移	10
4	市町村別人口	
(1)	市町村別人口	12
(2)	年齢3区分別人口比率	12
第2	人口動態	
1	県の人口動態	
(1)	県の人口動態	14
(2)	県の自然動態	15
(3)	県の社会動態	16
2	方部別人口動態	
(1)	方部別人口動態	17
(2)	方部別自然動態	17
(3)	方部別社会動態	18
3	市町村別人口動態	
(1)	市町村別人口動態	18
(2)	市町村別自然動態	20
(3)	市町村別社会動態	20
第3	移動者の状況	
1	月別移動者数	21
2	移動者の従前地及び転出先	
(1)	他の都道府県との移動	22
(2)	方部別状況	23
(3)	市町村別状況	24
3	年齢別移動者数	25
第4	最近10年の人口の推移	26
V	統計表	
第1表	市町村、年齢（5歳階級）、男女別人口（平成19年10月1日現在）	34
第2表	市町村、男女別人口動態（出生・死亡者数、転入・転出者数）（平成19年）	42
第3表	県内市町村間移動者数（平成19年）	46
第4表	市町村別県外（他都道府県、外国）からの転入者数（平成19年）	56
第5表	市町村別県外（他都道府県、外国）への転出者数（平成19年）	62
第6表	市町村別人口（大正9年～平成19年、各年10月1日現在）	68
第7表	市町村別世帯数（大正9年～平成19年、各年10月1日現在）	76
第8表	福島県の人口動態の推移（昭和45年～平成19年）	84

I 調査の概要

(1) 調査の目的

福島県現住人口調査（以下「調査」という。）は、県の人口及びその移動実態を明らかにし、各種行政施策のための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 根拠法令等

- ア 福島県統計調査条例（昭和26年福島県条例第93号）
- イ 福島県現住人口調査規則（平成12年福島県規則第62号）
- ウ 福島県現住人口調査要綱

(3) 調査期間

毎月1日から末日までの1月を1単位として、継続して行う。

(4) 調査対象

- ア 県外への転出者
- イ 県外からの転入者
- ウ 県内の市町村間で移動する者のうち転入した者
- エ 出生者
- オ 死亡者
- カ 世帯

(5) 調査事項

- ア 県外者への転出者に関する事項
 - (ア) 県外への転出者の数
 - (イ) 国籍、男女の別、出生の年月及び転出先の住所地
- イ 県外からの転入者及び県内で移動する者のうち転入した者に関する事項
 - (ア) 県外からの転入者及び県内の市町村間で移動する者のうち転入した者の数
 - (イ) 国籍、男女の別、出生の年月及び従前の住所地
- ウ 出生者に関する事項
 - (ア) 出生者の数
 - (イ) 国籍、男女の別及び出生の年月
- エ 死亡者に関する事項
 - (ア) 死亡者の数
 - (イ) 国籍、男女の別及び出生の年月
- オ 世帯数及びその増減の状況

(6) 推計方法

この調査は、直近の国勢調査による人口及び世帯数を基数とし、これに毎月、出生者の数、死亡者の数、転入者の数、転出者の数及び世帯数の増減を加減することにより推計を行っている。

$$\text{推計人口} = \text{国勢調査人口} + (\text{出生者の数} - \text{死亡者の数}) + (\text{転入者の数} - \text{転出者の数})$$

$$\text{推計世帯数} = \text{国勢調査世帯数} + (\text{世帯数の増加数} - \text{世帯数の減少数})$$

なお、本書中における基数は、時期により異なる。

平成12年10月1日～平成17年9月1日 = 平成12年国勢調査
平成17年10月1日～平成20年1月1日 = 平成17年国勢調査

II 利用上の注意

(1) 本書は、平成19年1月1日から12月31日までの1年間における調査結果を取りまとめたものである。

なお、本書においては、調査結果の基準日を次のとおりとした。

総人口、年齢別人口、世帯数…………… 各年10月1日現在

出生者、死亡者、転入者、転出者……… 各年1月1日から12月31日までの計

(2) 表中に使用した符号は、次のとおりである。

「△」…………… 減少を表す

「0.0」…………… 表示単位に満たないもの

「-」…………… 該当数値がないもの

(3) 諸表の数値のうち、一部の表について、表示単位未満の数値を四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

III 用語の解説

(1) 自然動態

ア 自然増減 出生者の数－死亡者の数
イ 出生者 出生により住民票に記載され、又は外国人登録原票に登録された者。
ウ 死亡者 死亡により住民票が消除され、又は外国人登録原票が閉鎖された者。

(2) 社会動態

ア 社会増減 転入者の数－転出者の数
イ 転入者
 県内 県内の他市町村からの転入により住民票に記載され、又は外国人登録原票に登録された者。
 県外 県外からの転入又は入国により住民票に記載され、又は外国人登録原票に登録された者。
 その他 転入の届けがないこと等により職権で住民票に記載された者のうち従前の住所地が不明な者、日本国籍取得の届出によって住民票に記載された者及び日本国籍喪失による登録申請を受けて外国人登録原票に登録された者。
ウ 転出者
 県内 県内の他の市町村へ転出した者。本調査では、この数値を転出先の市町村の転入者に関する事項を基に算出している。したがって、福島県における県内転出の総数は県内転入の総数と一致するが、各市町村の県内転出者の数はその市町村において同月期に転出届等のあった実人数とは必ずしも一致しない。
 県外 県外又は国外への転出により住民票が消除された者、県外に転出したことにより外国人登録原票を転出先の市町村に送付された者及び出国により外国人登録原票が閉鎖された者。
 その他 転出の届けがないこと等により職権で住民票が消除された者のうち転出先が不明な者、日本国籍喪失の届出により住民票が消除された者及び日本国籍取得による登録証明書の返納を受けて外国人登録原票が閉鎖された者。

(3) 人口動態

人口増減 自然増減＋社会増減

(4) 県外地方区分

都道府県を次のとおり7地方に区分している。

北海道	北海道
東北	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県
関東	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県
中部	新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県
近畿	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
中国・四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

(5) 県内方部区分（平成20年1月1日現在）

県内の市町村を次のとおり7方部に区分している。

県北	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	桑折町	国見町	川俣町
	飯野町	大玉村					
県中	郡山市	須賀川市	田村市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村
	平田村	浅川町	古殿町	三春町	小野町		
県南	白河市	西郷村	泉崎村	中島村	矢吹町	棚倉町	矢祭町
	塙町	鮫川村					
会津	会津若松市	喜多方市	北塩原村	西会津町	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町
	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	
南会津	下郷町	檜枝岐村	只見町	南会津町			
相双	相馬市	南相馬市	広野町	楡葉町	富岡町	川内村	大熊町
	双葉町	浪江町	葛尾村	新地町	飯館村		
いわき	いわき市						

(6) 市町村合併

平成16年11月1日	会津若松市（北会津村編入）
平成17年3月1日	田村市（滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町）
平成17年4月1日	須賀川市（長沼町、岩瀬村編入）
平成17年10月1日	会津美里町（会津高田町、会津本郷町、新鶴村）
平成17年11月1日	会津若松市（河東町編入）
平成17年11月7日	白河市（白河市、表郷村、東村、大信村）
平成17年12月1日	二本松市（二本松市、安達町、岩代町、東和町）
平成18年1月1日	南相馬市（原町市、鹿島町、小高町）
	伊達市（伊達町、梁川町、保原町、霊山町、月舘町）
平成18年1月4日	喜多方市（喜多方市、熱塩加納村、塩川町、山都町、高郷村）
平成18年3月20日	南会津町（田島町、館岩村、伊南村、南郷村）
平成19年1月1日	本宮市（本宮町、白沢村）

IV 結果の概要

第1 県人口

1 総人口及び世帯数

福島県現住人口調査による本県の推計人口（以下「人口」という。）と世帯数は、平成19年10月1日現在で2,068,352人及び721,819世帯となった。

また、平成20年1月1日現在の本県の人口と世帯数は、2,066,796人及び722,983世帯となった。

表1 男女別人口、世帯数及び1世帯当たりの人員 (単位：人、%)

	人 口			人口性比	世帯数	1世帯当たりの人員
	総 数	男	女			
平成19年10月1日現在	2,068,352	1,004,619	1,063,733	94.44	721,819	2.87
(平成18年10月1日現在)	(2,080,186)	(1,010,845)	(1,069,341)	(94.53)	(715,921)	(2.91)
平成20年 1月1日現在	2,066,796	1,003,643	1,063,153	94.40	722,983	2.86
(平成19年 1月1日現在)	(2,079,273)	(1,010,339)	(1,068,934)	(94.52)	(717,480)	(2.90)

(注1) 人口性比=男性人口÷女性人口×100

2 県人口及び世帯数の推移

戦前は160万人だった本県の人口は、戦時中の疎開による人口流入や、戦後の海外からの引き揚げ、第1次ベビーブームなどから急増し、昭和32年3月に209万9千7百人とピークを迎えた。その後、昭和35年から45年にかけての高度経済成長期には、首都圏への大幅な人口流出のため人口が減少し続け、昭和47年4月には192万7千9百人となった。

しかし、これを底に首都圏からのUターンや第2次ベビーブームなどから増加に転じ、昭和53年には再び200万人台を回復し、平成元年11月には、初めて210万人を超えた。平成10年1月には2,138,454人と現在までの最高値を記録したが、その後は減少に転じ、近年では人口減少が年々加速していく傾向にある。

一方、世帯数は、戦後ほぼ一貫して増え続けている。

図1 人口及び世帯数の推移(昭和30年～平成19年、各年10月1日現在)

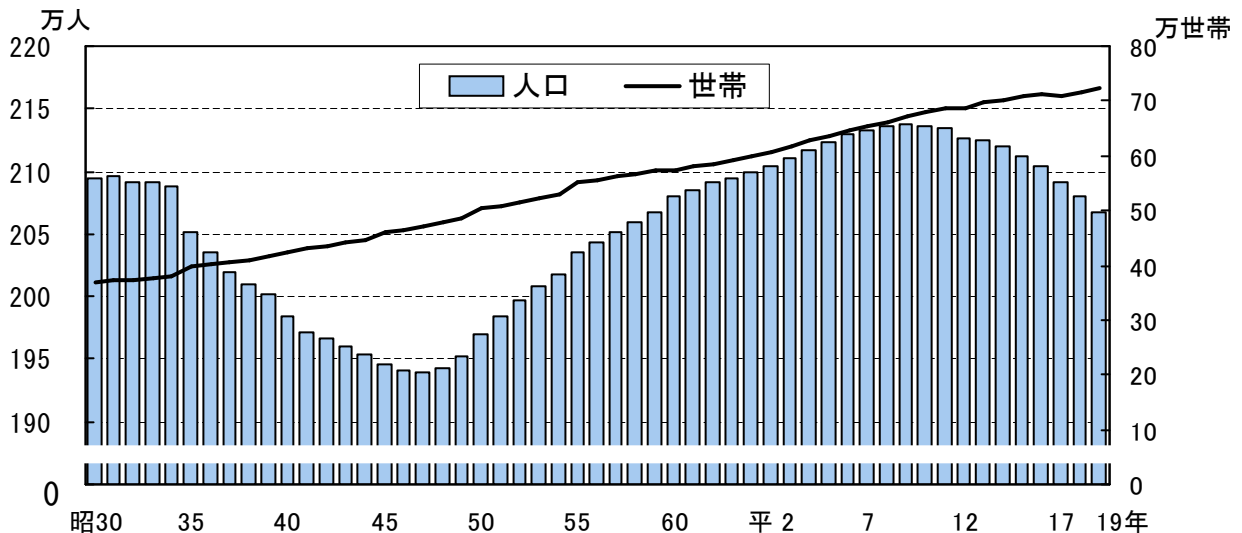


図2 福島県の総人口(H18年1月～H20年1月)

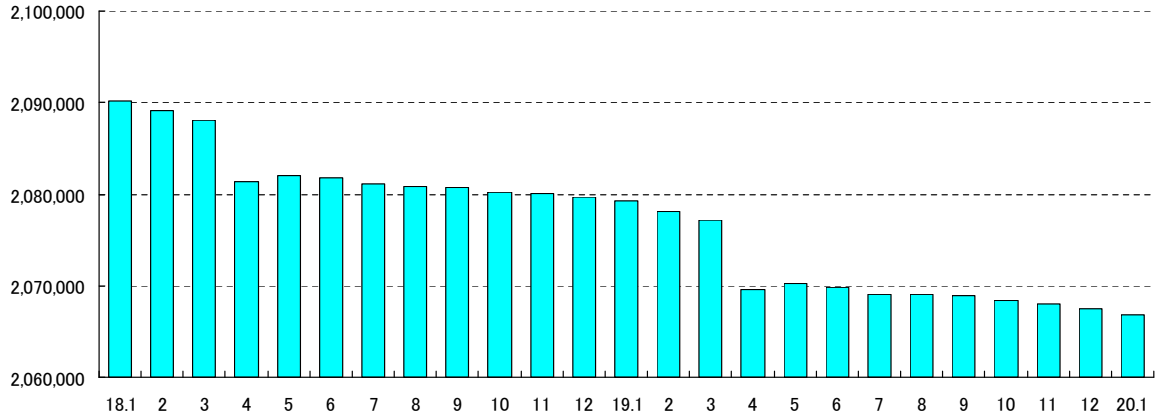


図3 福島県の総世帯数(H18年1月～H20年1月)

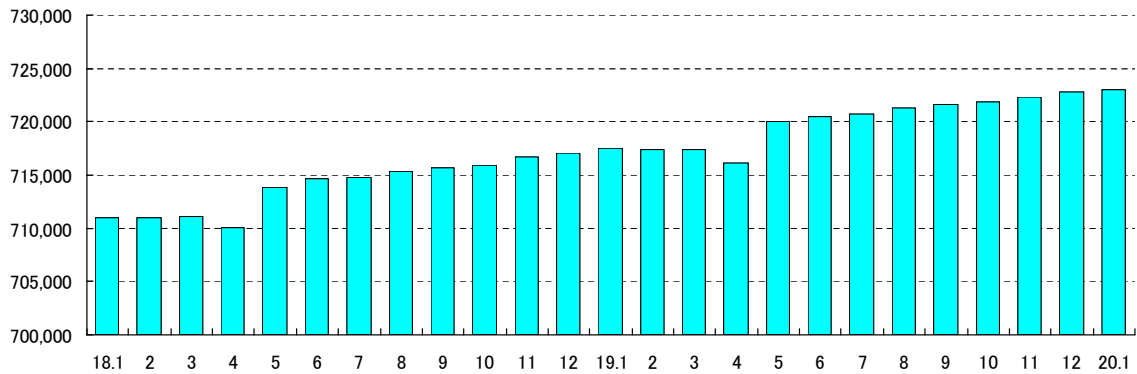


表1-2 人口及び世帯数の推移(昭和30年10月～平成20年1月)

年月日	人 口 (人)			世帯数 (世帯)	1世帯当たりの 人員
	総数	男	女		
昭和30年10月1日	2,095,237	1,016,756	1,078,481	370,577	5.65
昭和35年	2,051,137	986,836	1,064,301	398,636	5.15
昭和40年	1,983,754	954,988	1,028,766	424,249	4.68
昭和45年	1,946,077	936,202	1,009,875	459,932	4.23
昭和50年	1,970,616	953,449	1,017,167	502,786	3.92
昭和55年	2,035,272	990,575	1,044,697	550,442	3.70
昭和60年	2,080,304	1,012,456	1,067,848	574,968	3.62
平成 2年	2,104,058	1,024,354	1,079,704	606,936	3.47
平成 7年	2,133,592	1,042,030	1,091,562	653,814	3.26
平成12年	2,126,935	1,037,787	1,089,148	687,828	3.09
平成13年	2,124,404	1,035,978	1,088,426	696,056	3.05
平成14年	2,119,382	1,032,810	1,086,572	702,199	3.02
平成15年	2,112,489	1,029,027	1,083,462	708,116	2.98
平成16年	2,104,850	1,024,651	1,080,199	713,939	2.95
平成17年	2,091,319	1,016,724	1,074,595	709,644	2.95
平成18年	2,080,186	1,010,845	1,069,341	716,869	2.90
平成19年	2,068,352	1,004,619	1,063,733	721,819	2.87
平成18年 1月	2,090,107	1,016,045	1,074,062	710,943	2.94
平成18年 2月	2,089,057	1,015,516	1,073,541	710,978	2.94
平成18年 3月	2,088,123	1,015,061	1,073,062	711,139	2.94
平成18年 4月	2,081,339	1,011,426	1,069,913	710,081	2.93
平成18年 5月	2,081,973	1,011,964	1,070,009	713,865	2.92
平成18年 6月	2,081,749	1,011,860	1,069,889	714,604	2.91
平成18年 7月	2,081,108	1,011,316	1,069,792	714,775	2.91
平成18年 8月	2,080,823	1,011,148	1,069,675	715,297	2.91
平成18年 9月	2,080,735	1,011,097	1,069,638	715,649	2.91
平成18年10月	2,080,186	1,010,845	1,069,341	715,921	2.91
平成18年11月	2,080,066	1,010,836	1,069,230	716,675	2.90
平成18年12月	2,079,667	1,010,611	1,069,056	717,023	2.90
平成19年 1月	2,079,273	1,010,339	1,068,934	717,480	2.90
平成19年 2月	2,078,064	1,009,686	1,068,378	717,386	2.90
平成19年 3月	2,077,161	1,009,208	1,067,953	717,459	2.90
平成19年 4月	2,069,570	1,005,155	1,064,415	716,163	2.89
平成19年 5月	2,070,252	1,005,716	1,064,536	719,994	2.88
平成19年 6月	2,069,815	1,005,533	1,064,282	720,486	2.87
平成19年 7月	2,069,102	1,005,087	1,064,015	720,688	2.87
平成19年 8月	2,069,011	1,005,116	1,063,895	721,249	2.87
平成19年 9月	2,068,873	1,004,963	1,063,910	721,585	2.87
平成19年10月	2,068,352	1,004,619	1,063,733	721,819	2.87
平成19年11月	2,067,943	1,004,391	1,063,552	722,296	2.86
平成19年12月	2,067,433	1,004,058	1,063,375	722,750	2.86
平成20年 1月	2,066,796	1,003,643	1,063,153	722,983	2.86

3 年齢別人口

(1) 年齢3区分別人口

平成19年10月1日現在の人口を年齢3区分別にみると、年少人口（0～14歳）が295,454人（県人口に占める割合14.3%）、生産年齢人口（15～64歳）が1,281,510人（同62.0%）、老年人口（65歳以上）が489,957人（同23.7%）となっている。

総人口に占める構成比を前年と比較すると、年少人口が0.2ポイント、生産年齢人口が0.3ポイント低下しているのに対して、老年人口は0.5ポイント上昇している。

図4 年齢3区分別人口の推移（大正9年～平成19年、各年10月1日現在）

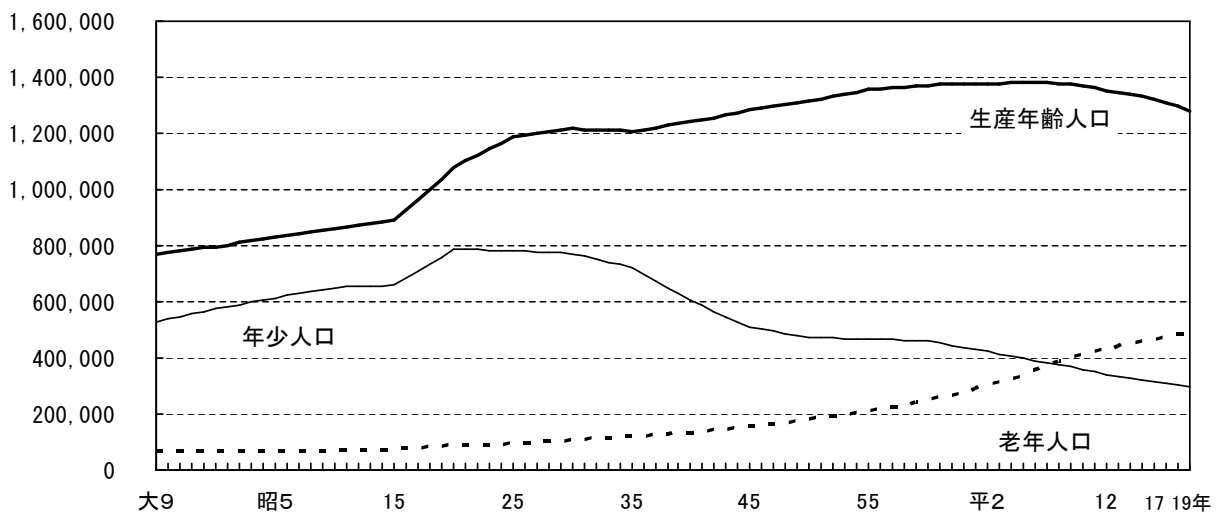


表2 年齢3区分別人口、年齢構造指数の推移（大正9年～平成19年、各年10月1日現在）（単位：人、%）

人口・指数 年次	年齢別人口						年齢構造指数			
	年少人口		生産年齢人口		老年人口		年少人口	老年人口	従属人口	老年化
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比				
大正9年	528,818	38.8	768,798	56.4	65,134	4.8	68.8	8.5	77.3	12.3
14年	575,325	40.0	796,855	55.4	65,416	4.6	72.2	8.2	80.4	11.4
昭和5年	614,170	40.7	827,833	54.9	66,147	4.4	74.2	8.0	82.2	10.8
10年	651,195	41.2	859,803	54.4	70,565	4.5	75.7	8.2	83.9	10.8
15年	658,598	40.5	892,339	54.9	74,461	4.6	73.8	8.3	82.2	11.3
20年	787,620	40.2	1,079,601	55.2	90,135	4.6	73.0	8.3	81.3	11.4
25年	780,838	37.9	1,187,059	57.6	94,391	4.6	65.8	8.0	73.7	12.1
30年	771,329	36.8	1,216,140	58.0	107,749	5.1	63.4	8.9	72.3	14.0
35年	720,721	35.1	1,208,990	58.9	121,426	5.9	59.6	10.0	69.7	16.8
40年	608,959	30.7	1,239,658	62.5	135,137	6.8	49.1	10.9	60.0	22.2
45年	508,172	26.1	1,283,176	65.9	154,729	8.0	39.6	12.1	51.7	30.4
50年	473,903	24.0	1,316,161	66.8	180,356	9.2	36.0	13.7	49.7	38.1
55年	466,840	22.9	1,355,601	66.6	212,704	10.5	34.4	15.7	50.1	45.6
60年	460,767	22.1	1,371,556	65.9	247,947	11.9	33.6	18.1	51.7	53.8
平成2年	422,064	20.1	1,377,857	65.5	301,552	14.3	30.6	21.9	52.5	71.4
7年	381,511	17.9	1,380,208	64.7	371,572	17.4	27.6	26.9	54.6	97.4
8年	374,548	17.5	1,377,358	64.5	385,314	18.0	27.2	28.0	55.2	102.9
9年	366,730	17.2	1,373,511	64.3	398,505	18.6	26.7	29.0	55.7	108.7
10年	358,629	16.8	1,368,989	64.1	410,776	19.2	26.2	30.0	56.2	114.5
11年	350,655	16.4	1,364,893	63.9	421,375	19.7	25.7	30.9	56.6	120.2
12年	341,038	16.0	1,353,500	63.6	431,797	20.3	25.2	31.9	57.1	126.6
13年	333,820	15.7	1,347,519	63.4	442,465	20.8	24.8	32.8	57.6	132.5
14年	327,292	15.4	1,339,192	63.2	452,298	21.3	24.4	33.8	58.2	138.2
15年	320,372	15.2	1,330,921	63.0	460,596	21.8	24.1	34.6	58.7	143.8
16年	314,449	14.9	1,324,047	62.9	465,754	22.1	23.7	35.2	58.9	148.1
17年	307,294	14.7	1,307,734	62.5	474,860	22.7	23.5	36.3	59.8	154.5
18年	301,513	14.5	1,295,007	62.3	482,235	23.2	23.3	37.2	60.5	159.9
19年	295,454	14.3	1,281,510	62.0	489,957	23.7	23.1	38.2	61.3	165.8

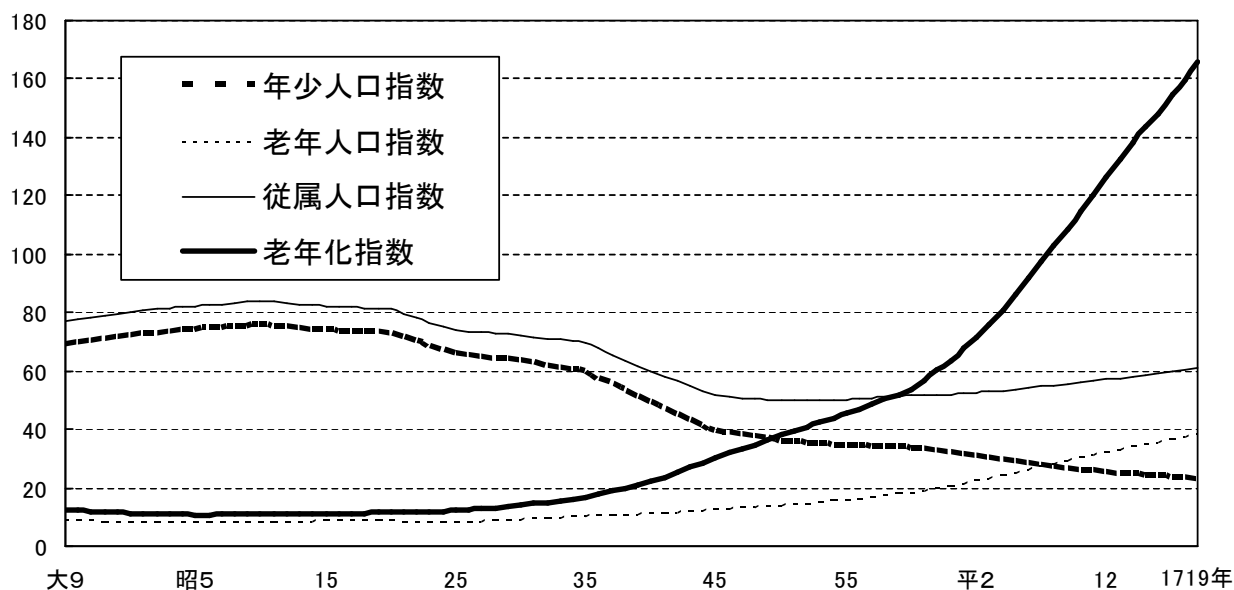
（注）大正9年～平成7年、平成12年、平成17年は国勢調査、その他の年は福島県現住人口調査による。

(2) 年齢構造指数の推移

年齢構造指数の推移をみると、年少人口指数は昭和15年以降一貫して低下を続けているが、老年人口指数は、昭和30年以降上昇を続けている。従属人口指数は昭和10年にピークを迎えたあと低下を続けていたが、昭和55年から緩やかに上昇している。

一方、老年化指数は、昭和25年までは安定して推移していたが、昭和30年以降緩やかに上昇し始め、平成2年からは急激な上昇となり、平成8年4月1日現在に初めて100を超え、平成19年10月1日現在では、165.8となっている。

図5 年齢構造指数の推移（大正9年～平成19年、各年10月1日現在）



< 年齢構造指数 >

年少（老年）人口指数 ----- 生産年齢人口100人が年少(老年)人口を何人養わなければならないかを表したものだ。

$$\text{年少(老年)人口指数} = \text{年少(老年)人口} \div \text{生産年齢人口} \times 100$$

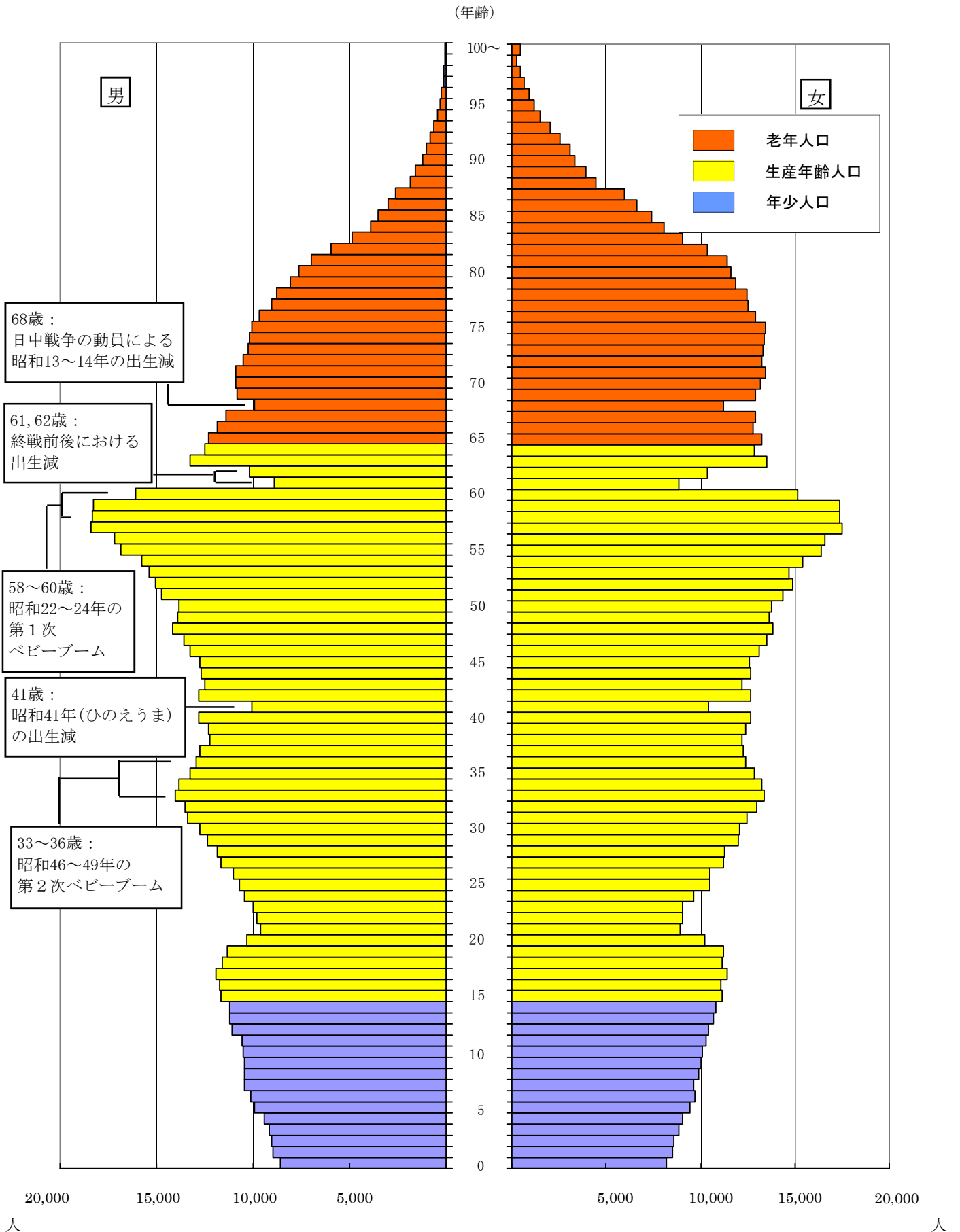
従属人口指数 ----- 生産年齢人口100人が「子供」（年少人口）と「老人」（老年人口）を何人が養わなければならないかを表したものだ。値が大きければ大きいほど負担が大きくなる。

$$\text{従属人口指数} = (\text{年少人口} + \text{老年人口}) \div \text{生産年齢人口} \times 100$$

老年化指数 ----- 人口の高齢化を表す指標の一つ。値が100を超えると、老年人口が年少人口を上回ったことを示す。

$$\text{老年化指数} = \text{老年人口} \div \text{年少人口} \times 100$$

図6 福島県の人口ピラミッド（平成19年10月1日現在）



4 市町村別人口

(1) 市町村別人口

県内60市町村のうち、平成19年10月1日現在で最も人口が多いのはいわき市で350,258人、以下郡山市(339,157人)、福島市(289,343人)と続いている。

一方、最も人口が少なかったのは檜枝岐村で682人、以下昭和村(1,539人)、葛尾村(1,555人)と続いている。

表3 人口の多い市町村(平成19年10月1日現在)

順位	上位10市町村				下位10市町村			
	市町村名	人口(人)	男(人)	女(人)	市町村名	人口(人)	男(人)	女(人)
1	いわき市	350,258	170,004	180,254	檜枝岐村	682	335	347
2	郡山市	339,157	166,889	172,268	昭和村	1,539	724	815
3	福島市	289,343	139,180	150,163	葛尾村	1,555	816	739
4	会津若松市	129,441	61,477	67,964	三島町	2,140	992	1,148
5	須賀川市	80,324	39,190	41,134	金山町	2,664	1,244	1,420
6	南相馬市	71,816	34,734	37,082	川内村	3,049	1,545	1,504
7	伊達市	67,643	32,707	34,936	北塩原村	3,412	1,684	1,728
8	白河市	65,689	32,389	33,300	湯川村	3,505	1,660	1,845
9	二本松市	61,833	29,964	31,869	磐梯町	3,897	1,841	2,056
10	喜多方市	54,817	25,997	28,820	柳津町	4,068	1,973	2,095

(2) 年齢3区分別人口比率

市町村別に平成19年10月1日現在の年齢3区分別人口比率を見ると、年少人口の比率が最も高い市町村は、中島村で16.52%、以下鏡石町(16.27%)、西郷村(16.12%)と続いている。

また、年少人口の比率が最も低い市町村は、昭和村で6.56%、以下金山町(6.76%)、三島町(8.32%)と続いている。

一方、老年人口比率が最も高い市町村は、昭和村で54.26%、以下金山町(53.30%)、三島町(45.70%)と続いている。

また、老年人口比率が最も低い市町村は、西郷村の17.51%、以下郡山市(18.69%)、鏡石町(19.88%)と続いている。

表4 年少・老年人口比率の高い市町村(平成19年10月1日現在)

順位	年少人口比率				老年人口比率			
	上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	比率(%)	市町村名	比率(%)	市町村名	比率(%)	市町村名	比率(%)
1	中島村	16.52	昭和村	6.56	昭和村	54.26	西郷村	17.51
2	鏡石町	16.27	金山町	6.76	金山町	53.30	郡山市	18.69
3	西郷村	16.12	三島町	8.32	三島町	45.70	鏡石町	19.88
4	大熊町	16.11	川内村	10.10	西会津町	40.76	富岡町	20.34
5	棚倉町	15.78	西会津町	10.81	只見町	40.73	須賀川市	20.73

图7 市町村別人口（平成19年10月1日現在）

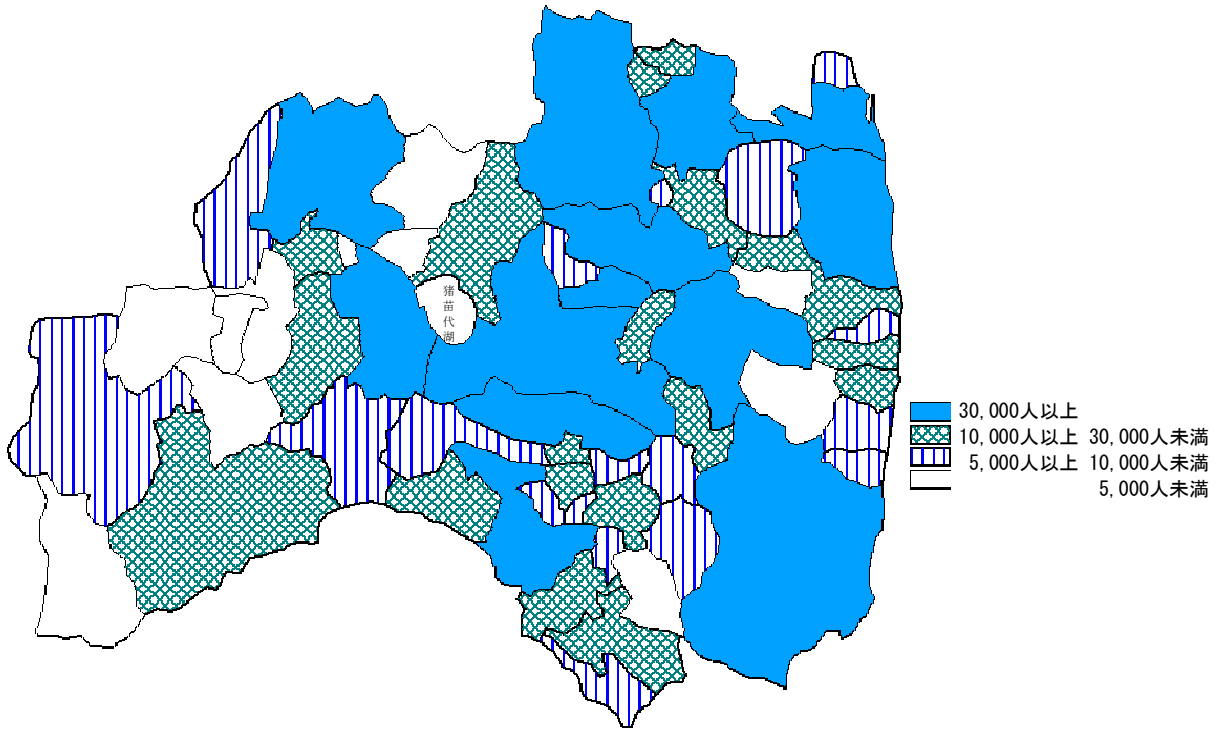
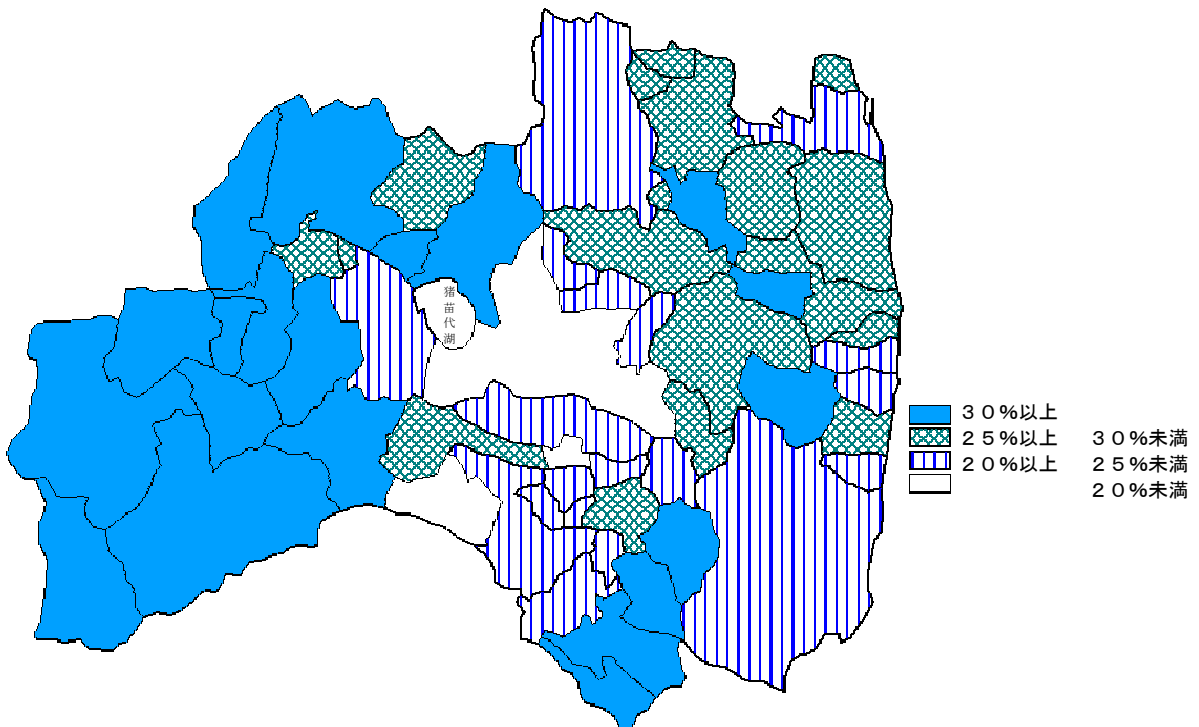


图8 市町村別老年人口比率（平成19年10月1日現在）



第2 人口動態

1 県の人口動態

(1) 県の人口動態

平成19年の人口動態は、自然増減が4,120人の減少、社会増減が8,357人の減少となり、その結果、12,477人の人口減少となった。

前年の人口動態と比較すると、自然増減が1,250人の減、社会増減が393人の減で、計1,643人の減となっている。

図9 人口増減数(自然・社会増減数)の推移(昭和45年～平成19年)

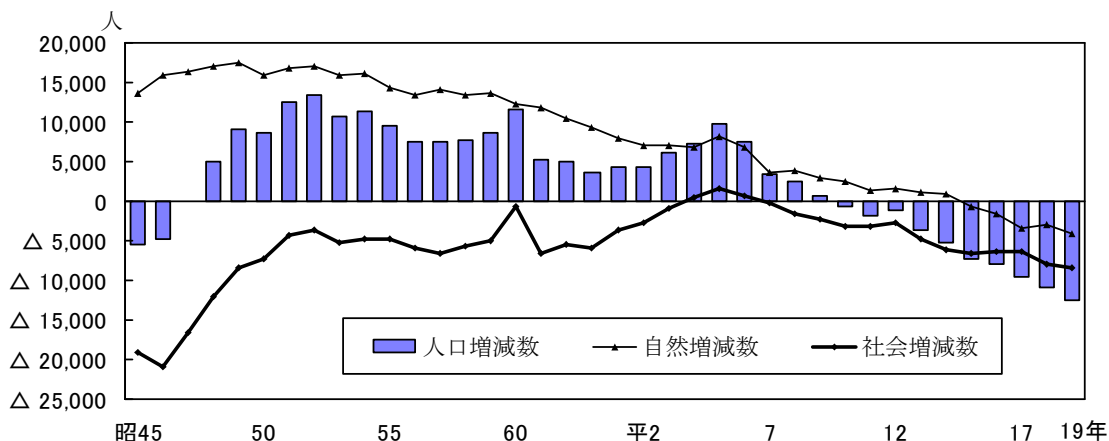


表5 人口増減数(自然・社会増減数)の推移(昭和45年～平成19年)

(単位：人、%)

年次	自然増減		社会増減		人口増減		年初人口 (各年1月1日現在)
	実数	率	実数	率	実数	率	
昭和45年	13,733	0.70	△ 19,103	△ 0.98	△ 5,370	△ 0.27	1,955,088
46年	15,930	0.82	△ 20,796	△ 1.07	△ 4,866	△ 0.25	1,948,006
47年	16,462	0.85	△ 16,491	△ 0.85	△ 29	△ 0.00	1,942,795
48年	17,009	0.88	△ 12,002	△ 0.62	5,007	0.26	1,942,989
49年	17,545	0.90	△ 8,375	△ 0.43	9,170	0.47	1,947,994
50年	15,901	0.81	△ 7,269	△ 0.37	8,632	0.44	1,957,723
51年	16,742	0.85	△ 4,304	△ 0.22	12,438	0.63	1,975,806
52年	17,015	0.86	△ 3,626	△ 0.18	13,389	0.67	1,986,898
53年	15,814	0.79	△ 5,186	△ 0.26	10,628	0.53	2,002,020
54年	16,188	0.80	△ 4,716	△ 0.23	11,472	0.57	2,012,534
55年	14,362	0.71	△ 4,754	△ 0.23	9,608	0.47	2,023,796
56年	13,521	0.66	△ 6,012	△ 0.29	7,509	0.37	2,039,119
57年	14,059	0.69	△ 6,628	△ 0.32	7,431	0.36	2,046,587
58年	13,349	0.65	△ 5,603	△ 0.27	7,746	0.38	2,054,458
59年	13,674	0.66	△ 5,113	△ 0.25	8,561	0.42	2,062,418
60年	12,385	0.60	△ 745	△ 0.04	11,640	0.56	2,071,325
61年	11,722	0.56	△ 6,548	△ 0.31	5,174	0.25	2,083,356
62年	10,411	0.50	△ 5,404	△ 0.26	5,007	0.24	2,088,766
63年	9,350	0.45	△ 5,809	△ 0.28	3,541	0.17	2,094,157
平成元年	8,041	0.38	△ 3,671	△ 0.17	4,370	0.21	2,098,002
2年	6,994	0.33	△ 2,675	△ 0.13	4,319	0.21	2,102,485
3年	6,937	0.33	△ 852	△ 0.04	6,085	0.29	2,106,847
4年	6,006	0.28	432	0.02	6,438	0.30	2,112,932
5年	4,783	0.23	1,673	0.08	6,456	0.30	2,119,370
6年	5,429	0.26	690	0.03	6,119	0.29	2,125,826
7年	3,649	0.17	△ 295	△ 0.01	3,354	0.16	2,131,945
8年	3,903	0.18	△ 1,496	△ 0.07	2,407	0.11	2,135,299
9年	3,039	0.14	△ 2,291	△ 0.11	748	0.03	2,137,706
10年	2,444	0.11	△ 3,184	△ 0.15	△ 740	△ 0.03	2,138,454
11年	1,388	0.06	△ 3,195	△ 0.15	△ 1,807	△ 0.08	2,137,714
12年	1,704	0.08	△ 2,778	△ 0.13	△ 1,074	△ 0.05	2,135,907
13年	1,090	0.05	△ 4,835	△ 0.23	△ 3,745	△ 0.18	2,128,270
14年	815	0.04	△ 6,122	△ 0.29	△ 5,307	△ 0.25	2,124,525
15年	△ 770	△ 0.04	△ 6,557	△ 0.31	△ 7,327	△ 0.35	2,119,218
16年	△ 1,690	△ 0.08	△ 6,313	△ 0.30	△ 8,003	△ 0.38	2,111,891
17年	△ 3,300	△ 0.16	△ 6,305	△ 0.30	△ 9,605	△ 0.46	2,103,888
18年	△ 2,870	△ 0.14	△ 7,964	△ 0.38	△ 10,834	△ 0.52	2,090,107
19年	△ 4,120	△ 0.20	△ 8,357	△ 0.40	△ 12,477	△ 0.60	2,079,273
19-18	△ 1,250		△ 393		△ 1,643		H20.1.1現在 2,066,796

(注) 率は年初人口(各年1月1日現在)に対する割合

(2) 県の自然動態

平成19年の自然動態は、出生 17,211人（男 8,823人、女 8,388人、性比 105.2）、死亡 21,331人（男 11,289人、女 10,042人、性比 112.4）で、差し引き 4,120人の自然減少となった。

前年と比較すると、出生が454人の減、死亡が796人の増となり、その結果自然減少が1,250人増加した。

また、出生率は0.83%、死亡率1.03%となり、前年に比べ出生率は0.02ポイント減、死亡率は0.05ポイント増となった。

図10 出生数・死亡数、自然増減数の推移（昭和45年～平成19年）

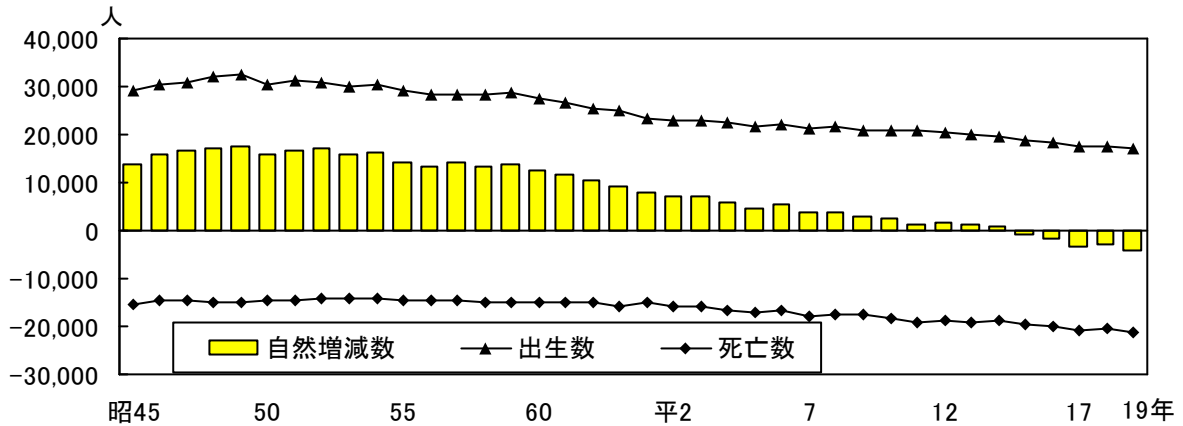


表6 出生数・死亡数、自然増減数の推移（昭和45年～平成19年）

（単位：人、%）

年次	出生数		死亡数		自然増減数		年初人口 (各年1月1日現在)
	数	率	数	率	数	率	
昭和45年	28,987	1.48	15,254	0.78	13,733	0.70	1,955,088
46年	30,391	1.56	14,461	0.74	15,930	0.82	1,948,006
47年	30,856	1.59	14,394	0.74	16,462	0.85	1,942,795
48年	31,931	1.64	14,922	0.77	17,009	0.88	1,942,989
49年	32,402	1.66	14,857	0.76	17,545	0.90	1,947,994
50年	30,608	1.56	14,707	0.75	15,901	0.81	1,957,723
51年	31,438	1.59	14,696	0.74	16,742	0.85	1,975,806
52年	31,036	1.56	14,021	0.71	17,015	0.86	1,986,898
53年	30,025	1.50	14,211	0.71	15,814	0.79	2,002,020
54年	30,313	1.51	14,125	0.70	16,188	0.80	2,012,534
55年	29,121	1.44	14,759	0.73	14,362	0.71	2,023,796
56年	28,283	1.39	14,762	0.72	13,521	0.66	2,039,119
57年	28,506	1.39	14,447	0.71	14,059	0.69	2,046,587
58年	28,485	1.39	15,136	0.74	13,349	0.65	2,054,458
59年	28,602	1.39	14,928	0.72	13,674	0.66	2,062,418
60年	27,301	1.32	14,916	0.72	12,385	0.60	2,071,325
61年	26,638	1.28	14,916	0.72	11,722	0.56	2,083,356
62年	25,316	1.21	14,905	0.71	10,411	0.50	2,088,766
63年	25,099	1.20	15,749	0.75	9,350	0.45	2,094,157
平成元年	23,201	1.11	15,160	0.72	8,041	0.38	2,098,002
2年	22,783	1.08	15,789	0.75	6,994	0.33	2,102,485
3年	22,902	1.09	15,965	0.76	6,937	0.33	2,106,847
4年	22,530	1.07	16,524	0.78	6,006	0.28	2,112,932
5年	21,748	1.03	16,965	0.80	4,783	0.23	2,119,370
6年	22,215	1.05	16,786	0.79	5,429	0.26	2,125,826
7年	21,409	1.00	17,760	0.83	3,649	0.17	2,131,945
8年	21,506	1.01	17,603	0.82	3,903	0.18	2,135,299
9年	20,732	0.97	17,693	0.83	3,039	0.14	2,137,706
10年	20,888	0.98	18,444	0.86	2,444	0.11	2,138,454
11年	20,748	0.97	19,360	0.91	1,388	0.06	2,137,714
12年	20,401	0.96	18,697	0.88	1,704	0.08	2,135,907
13年	20,181	0.95	19,091	0.90	1,090	0.05	2,128,270
14年	19,527	0.92	18,712	0.88	815	0.04	2,124,525
15年	18,902	0.89	19,672	0.93	△ 770	△ 0.04	2,119,218
16年	18,472	0.87	20,162	0.95	△ 1,690	△ 0.08	2,111,891
17年	17,598	0.84	20,898	0.99	△ 3,300	△ 0.16	2,103,888
18年	17,665	0.85	20,535	0.98	△ 2,870	△ 0.14	2,090,107
19年	17,211	0.83	21,331	1.03	△ 4,120	△ 0.20	2,079,273
19-18	△ 454		796		△ 1,250		H20.1.1現在 2,066,796

(注) 率は年初人口（各年1月1日現在）に対する割合

(3) 県の社会動態

平成19年の社会動態は、転入者が32,650人、転出者が41,007人で、差し引き8,357人の転出超過となった。

前年と比較すると、転入が699人の減、転出も306人の減となり、その結果転出超過が393人増加している。

図11 転入・転出者数、社会増減数の推移(昭和45年～平成19年)

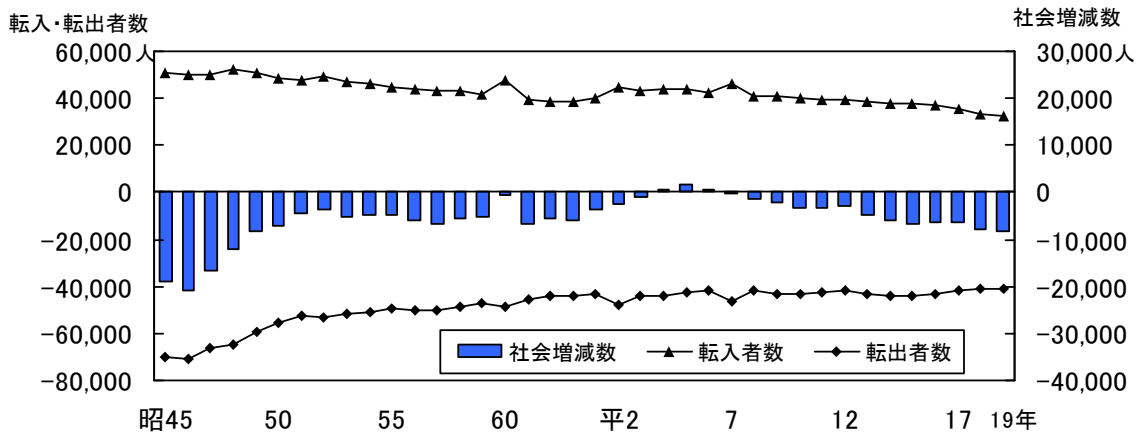


表7 転入・転出者数、社会増減数の推移(昭和45年～平成19年) (単位:人、%)

年次	転入者数 (注1)		転出者数 (注2)		社会増減数		年初人口 (各年1月1日現在)
	数	率	数	率	数	率	
昭和45年	50,787	2.60	69,890	3.57	△ 19,103	△ 0.98	1,955,088
46年	49,727	2.55	70,523	3.62	△ 20,796	△ 1.07	1,948,006
47年	50,090	2.58	66,581	3.43	△ 16,491	△ 0.85	1,942,795
48年	52,323	2.69	64,325	3.31	△ 12,002	△ 0.62	1,942,989
49年	50,654	2.60	59,029	3.03	△ 8,375	△ 0.43	1,947,994
50年	48,149	2.46	55,418	2.83	△ 7,269	△ 0.37	1,957,723
51年	47,942	2.43	52,246	2.64	△ 4,304	△ 0.22	1,975,806
52年	49,391	2.49	53,017	2.67	△ 3,626	△ 0.18	1,986,898
53年	46,700	2.33	51,886	2.59	△ 5,186	△ 0.26	2,002,020
54年	46,122	2.29	50,838	2.53	△ 4,716	△ 0.23	2,012,534
55年	45,017	2.22	49,771	2.46	△ 4,754	△ 0.23	2,023,796
56年	43,890	2.15	49,902	2.45	△ 6,012	△ 0.29	2,039,119
57年	43,393	2.12	50,021	2.44	△ 6,628	△ 0.32	2,046,587
58年	43,054	2.10	48,657	2.37	△ 5,603	△ 0.27	2,054,458
59年	41,927	2.03	47,040	2.28	△ 5,113	△ 0.25	2,062,418
60年	47,717	2.30	48,462	2.34	△ 745	△ 0.04	2,071,325
61年	39,160	1.88	45,708	2.19	△ 6,548	△ 0.31	2,083,356
62年	38,781	1.86	44,185	2.12	△ 5,404	△ 0.26	2,088,766
63年	38,549	1.84	44,358	2.12	△ 5,809	△ 0.28	2,094,157
平成元年	39,741	1.89	43,412	2.07	△ 3,671	△ 0.17	2,098,002
2年	45,008	2.14	47,683	2.27	△ 2,675	△ 0.13	2,102,485
3年	43,228	2.05	44,080	2.09	△ 852	△ 0.04	2,106,847
4年	44,198	2.09	43,766	2.07	432	0.02	2,112,932
5年	44,001	2.08	42,328	2.00	1,673	0.08	2,119,370
6年	42,580	2.00	41,890	1.97	690	0.03	2,125,826
7年	46,281	2.17	46,576	2.18	△ 295	△ 0.01	2,131,945
8年	41,104	1.92	42,600	2.00	△ 1,496	△ 0.07	2,135,299
9年	40,671	1.90	42,962	2.01	△ 2,291	△ 0.11	2,137,706
10年	40,017	1.87	43,201	2.02	△ 3,184	△ 0.15	2,138,454
11年	39,008	1.82	42,203	1.97	△ 3,195	△ 0.15	2,137,714
12年	39,289	1.84	42,067	1.97	△ 2,778	△ 0.13	2,135,907
13年	38,613	1.81	43,448	2.04	△ 4,835	△ 0.23	2,128,270
14年	37,800	1.78	43,922	2.07	△ 6,122	△ 0.29	2,124,525
15年	37,482	1.77	44,039	2.08	△ 6,557	△ 0.31	2,119,218
16年	36,774	1.74	43,087	2.04	△ 6,313	△ 0.30	2,111,891
17年	35,381	1.68	41,686	1.98	△ 6,305	△ 0.30	2,103,888
18年	33,349	1.60	41,313	1.98	△ 7,964	△ 0.38	2,090,107
19年	32,650	1.57	41,007	1.97	△ 8,357	△ 0.40	2,079,273
19-18	△ 699		△ 306		△ 393		H20.1.1現在2,066,796

(注1) 転入者数 = 県外からの転入者 + 「従前地不詳等」の転入者

(注2) 転出者数 = 県外への転出者 + 「転出先不明等」の転出者

(注3) 転入(転出)率は年初人口(1月1日現在)に対する割合

2 方部別人口動態

(1) 方部別人口動態

県内7方部別にみると、すべての方部で人口が減少している。
 人口の減少が最も大きいのは会津で3,062人の減、以下県北(3,061人減)、いわき(2,212人減)と続いている。
 また、人口の減少率が最も大きいのは南会津で、1.80%の減となっている。
 なお、方部別人口動態で増加となっているのは、県中管内の自然増加のみである。

表8 方部別人口動態(平成19年) (単位:人、%)

方部	自然動態		社会動態(注1)		人口動態		年初人口 (平成19年 1月1日現在)
	実数	率(注2)	実数	率(注2)	実数	率(注2)	
県計	△4,120	△0.20	△8,357	△0.40	△12,477	△0.60	2,079,273
市部	△1,816	△0.11	△5,642	△0.35	△7,458	△0.46	1,629,675
郡部	△2,304	△0.51	△2,715	△0.60	△5,019	△1.12	449,598
県北管内	△910	△0.18	△2,151	△0.42	△3,061	△0.60	508,152
県中管内	85	0.02	△1,639	△0.29	△1,554	△0.28	559,715
県南管内	△263	△0.17	△350	△0.23	△613	△0.40	153,091
会津管内	△1,399	△0.51	△1,663	△0.61	△3,062	△1.12	274,253
南会津管内	△295	△0.91	△285	△0.88	△580	△1.80	32,297
相双管内	△518	△0.26	△877	△0.44	△1,395	△0.70	199,606
いわき管内	△820	△0.23	△1,392	△0.40	△2,212	△0.63	352,159

(注1) 「従前地不詳等」の転入者及び「転出先不明等」の転出者を含む。

(注2) 増減率は年初人口(平成19年1月1日現在)に対する割合

(2) 方部別自然動態

県内7方部別にみると、出生率では県中が0.89%と最も高く、以下相双(0.86%)、県南(0.84%)と続いており、最も低いのは南会津で0.63%となっている。
 一方、死亡率では南会津が1.54%と最も高く、会津が1.24%でそれに続いている。
 また、自然増減率をみると、増加しているのは県中のみで0.02%、減少率が最も高いのは南会津で0.91%の減となっている。

表9 方部別自然動態(平成19年) (単位:人、%)

方部	出生		死亡		自然増減	
	実数	率	実数	率	実数	率
県計	17,211	0.83	21,331	1.03	△4,120	△0.20
市部	13,997	0.86	15,813	0.97	△1,816	△0.11
郡部	3,214	0.71	5,518	1.23	△2,304	△0.51
県北管内	4,064	0.80	4,974	0.98	△910	△0.18
県中管内	4,988	0.89	4,903	0.88	85	0.02
県南管内	1,289	0.84	1,552	1.01	△263	△0.17
会津管内	1,994	0.73	3,393	1.24	△1,399	△0.51
南会津管内	203	0.63	498	1.54	△295	△0.91
相双管内	1,719	0.86	2,237	1.12	△518	△0.26
いわき管内	2,954	0.84	3,774	1.07	△820	△0.23

(注) 率は平成19年1月1日現在人口に対する割合

(3) 方部別社会動態

県内移動を含めた社会動態を方部別にみると、7方部すべてにおいて転出超過となっている。その中で最も減少率が高いのは、南会津で0.88%の減となっている。

表10 方部別社会動態（平成19年） (単位：人、%)

動態 方部	転入者数				転出者数				社会増減	
	県内		県外(注1)		県内		県外(注2)		実数	率
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率		
県計	30,908	1.49	32,650	1.57	30,908	1.49	41,007	1.97	△8,357	△0.40
市部	22,846	1.40	27,032	1.66	21,585	1.32	33,935	2.08	△5,642	△0.35
郡部	8,062	1.79	5,618	1.25	9,323	2.07	7,072	1.57	△2,715	△0.60
県北管内	8,135	1.60	7,825	1.54	8,164	1.61	9,947	1.96	△2,151	△0.42
県中管内	9,327	1.67	9,809	1.75	8,673	1.55	12,102	2.16	△1,639	△0.29
県南管内	2,868	1.87	2,726	1.78	2,953	1.93	2,991	1.95	△350	△0.23
会津管内	4,408	1.61	3,505	1.28	4,822	1.76	4,754	1.73	△1,663	△0.61
南会津管内	512	1.59	332	1.03	657	2.03	472	1.46	△285	△0.88
相双管内	3,195	1.60	3,078	1.54	3,401	1.70	3,749	1.88	△877	△0.44
いわき管内	2,463	0.70	5,375	1.53	2,238	0.64	6,992	1.99	△1,392	△0.40

(注1) 「従前地不詳等」の転入者を含む。

(注2) 「転出先不明等」の転出者を含む。

(注3) 率は年初人口（平成19年1月1日現在）に対する割合

3 市町村別人口動態

(1) 市町村別人口動態

県内60市町村のうち、平成19年1年間に人口の増加した市町村数は4、減少した市町村数は56で、前年に比べ、人口増の市町村は5減少した。

このうち、増加数の最も多かったのは、郡山市で179人の増加、以下大熊町（50人増）、西郷村（44人増）と続いている。

一方、減少数の最も多かったのは、いわき市で2,212人の減少、以下会津若松市（960人減）、二本松市（810人減）と続いている。

表11 人口増減数の多い市町村（平成19年） (単位：人、%)

順位	人口増加数の多い市町村					人口減少数の多い市町村				
	市町村	増加数			増加率	市町村	減少数			減少率
		総数	自然増減数	社会増減数			総数	自然増減数	社会増減数	
1	郡山市	179	728	△549	0.05	いわき市	△2,212	△820	△1,392	△0.63
2	大熊町	50	16	34	0.45	会津若松市	△960	△297	△663	△0.74
3	西郷村	44	△7	51	0.22	二本松市	△810	△209	△601	△1.30
4	矢吹町	36	△14	50	0.19	福島市	△771	△13	△758	△0.27
5	-	-	-	-	-	伊達市	△756	△336	△420	△1.11

(注1) 増減率は年初人口（平成19年1月1日現在）に対する割合

また、増減率をみると、増加率の最も高かったのは、大熊町で0.45%の増加、以下西郷村(0.22%増)、矢吹町(0.19%増)と続いている。

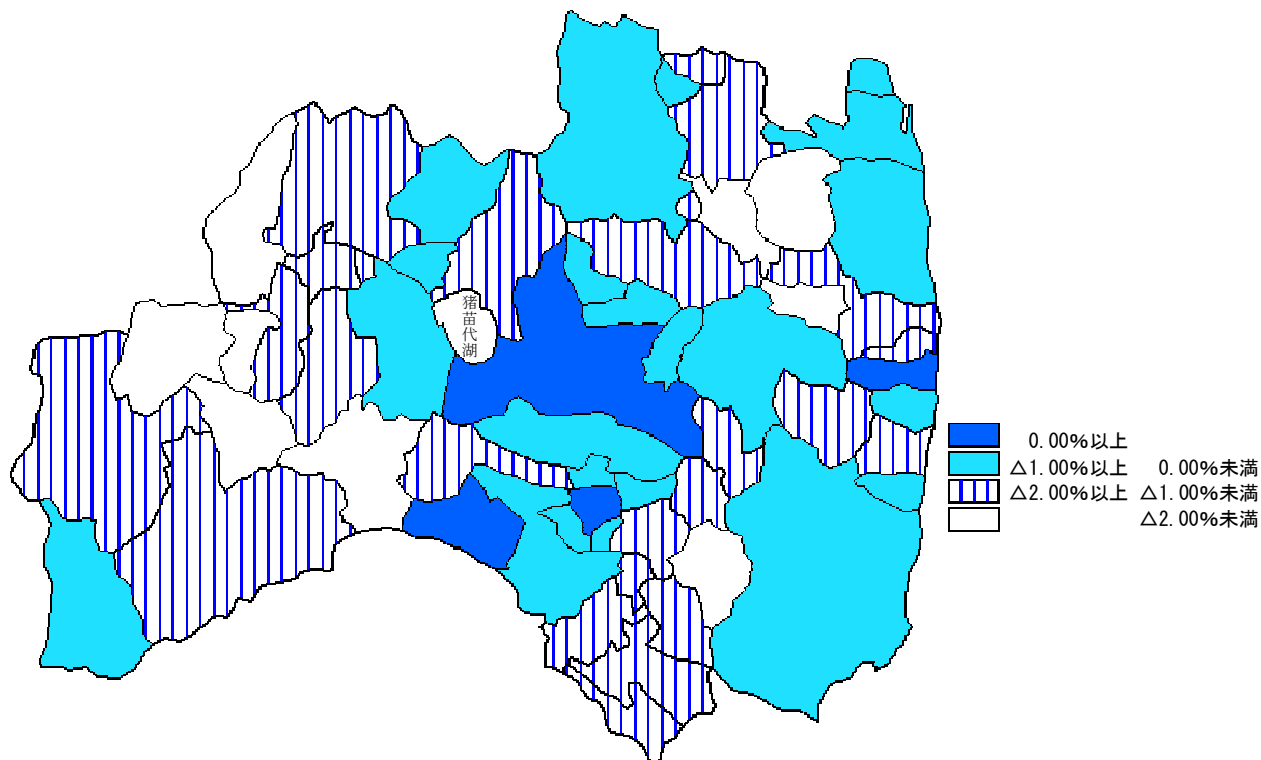
一方、減少率の最も高かったのは、金山町で3.40%の減少、以下昭和村(3.07%減)、飯館村(2.58%減)と続いている。

表12 人口増減率の高い市町村(平成19年) (単位:人、%)

順位	人口増加率の高い市町村					人口減少率の高い市町村				
	市町村	増加率	増加数			市町村	減少率	減少数		
			総数	自然増減数	社会増減数			総数	自然増減数	社会増減数
1	大熊町	0.45	50	16	34	金山町	△3.40	△93	△57	△36
2	西郷村	0.22	44	△7	51	昭和村	△3.07	△48	△35	△13
3	矢吹町	0.19	36	△14	50	飯館村	△2.58	△169	△39	△130
4	郡山市	0.05	179	728	△549	西会津町	△2.51	△201	△98	△103
5	-	-	-	-	-	三島町	△2.35	△51	△38	△13

(注1) 増減率は年初人口(平成19年1月1日現在)に対する割合

図12 市町村別人口増減率(平成19年)



(2) 市町村別自然動態

市町村別にみると、60市町村のうち自然増加の市町村が4、自然減少が56となっている。出生率の最も高いのは鏡石町で1.04%、以下郡山市（0.98%）、相馬市（0.96%）と続いている。

また、死亡率の最も高いのは昭和村で2.62%、金山町が2.34%でそれに続いている。

自然増加率の最も高いのは郡山市で0.21%、以下大熊町（0.14%）、鏡石町（0.12%）と続いている。一方、自然減少率の最も高いのは金山町で2.23%の減、昭和村が2.08%の減でそれに続いている。

表 1 3 出生率、死亡率、自然増減率の高い（低い）市町村（平成19年）（単位：人、%）

順位	出生率				死亡率				自然増減率			
	上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	率	市町村名	率	市町村名	率	市町村名	率	市町村名	率	市町村名	率
1	鏡石町	1.04	金山町	0.26	昭和村	2.62	檜枝岐村	0.58	郡山市	0.21	金山町	△ 2.23
2	郡山市	0.98	檜枝岐村	0.29	金山町	2.34	郡山市	0.77	大熊町	0.14	昭和村	△ 2.08
3	相馬市	0.96	川内村	0.29	三島町	2.26	白河市	0.77	鏡石町	0.12	西会津町	△ 1.75
4	泉崎村	0.95	昭和村	0.38	只見町	1.87	西郷村	0.88	玉川村	0.05	三島町	△ 1.22
5	玉川村	0.94	北塩原村	0.49	柳津町	1.74	鏡石町	0.88	-	-	柳津町	△ 1.20

(注) 率は平成19年1月1日現在人口に対する割合

(3) 市町村別社会動態

市町村別にみると、60市町村のうち社会増加の市町村が4、社会減少が56となっている。そのうち、社会増加数の多いのは西郷村で51人、以下矢吹町（50人）、大熊町（34人）と続いている。

また、社会増加率の最も高いのは、大熊町で0.31%、以下矢吹町（0.27%）、西郷村（0.26%）と続いている。

一方、社会減少数の最も多いのは、いわき市で1,392人の減、以下福島市（758人減）、会津若松市（663人減）と続いている。

また、社会減少率が最も高いのは、飯館村で1.98%の減、以下古殿町（1.53%減）、葛尾村（1.51%減）と続いている。

表 1 4 社会増減数（率）の多い（高い）市町村（平成19年）（単位：人、%）

順位	社会増減数				社会増減率			
	上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	増減数	市町村名	増減数	市町村名	増減率	市町村名	増減率
1	西郷村	51	いわき市	△ 1,392	大熊町	0.31	飯館村	△ 1.98
2	矢吹町	50	福島市	△ 758	矢吹町	0.27	古殿町	△ 1.53
3	大熊町	34	会津若松市	△ 663	西郷村	0.26	葛尾村	△ 1.51
4	大玉村	7	二本松市	△ 601	大玉村	0.08	小野町	△ 1.42
5	-	-	郡山市	△ 549	-	-	金山町	△ 1.31

(注1) 増減率は年初人口（平成19年1月1日現在）に対する割合

第3 移動者の状況

1 月別移動者数

県外移動を月別にみると、転入の最も多いのは4月で5,655人、次いで3月が5,351人となっている。

一方、転出が最も多いのは3月で12,466人、次いで4月が4,577人となっている。

社会動態をみると、転入超過の最も多いのは4月で1,078人、反対に3月は7,115人の大幅な転出超過となっている。これは、移動者の住民異動届の手続き（転出、転入）にタイムラグがあることが主な原因と考えられる。

また、県内移動を月別にみると、3月が6,474人で最も多く、次いで4月が5,725人となっている。

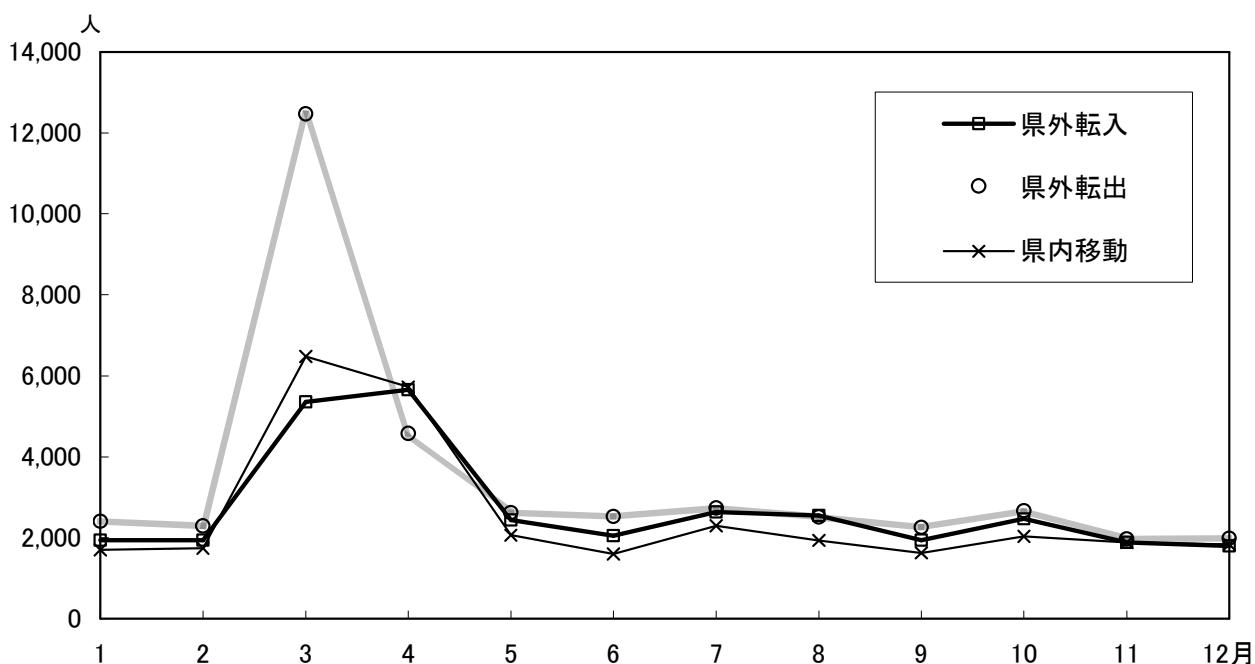
表15 月別県外転入・転出者数、社会増減数、県内移動者数(平成19年) (単位:人)

月別	県外転入者(A) (注1)	県外転出者(B) (注2)	社会増減数 (A)-(B)	県内移動者
1月	1,939	2,407	△ 468	1,698
2月	1,943	2,291	△ 348	1,742
3月	5,351	12,466	△ 7,115	6,474
4月	5,655	4,577	1,078	5,725
5月	2,440	2,621	△ 181	2,062
6月	2,049	2,526	△ 477	1,602
7月	2,635	2,731	△ 96	2,295
8月	2,547	2,510	37	1,938
9月	1,940	2,255	△ 315	1,625
10月	2,468	2,664	△ 196	2,033
11月	1,881	1,970	△ 89	1,883
12月	1,802	1,989	△ 187	1,831
計	32,650	41,007	△ 8,357	30,908

(注1) 「従前地不詳等」の転入者を含む。

(注2) 「転出先不明等」の転出者を含む。

図13 月別県外転入・転出者、県内移動者(平成19年)



2 移動者の従前地及び転出先

(1) 他の都道府県との移動

福島県と他の都道府県間の人口移動をみると、転入者数が最も多いのは東京都で4,835人、以下宮城県(4,828人)、神奈川県(2,498人)と続いている。

また、転出者数が最も多いのも東京都で7,798人、以下宮城県(5,819人)、神奈川県(3,607人)と続いている。

表16 地域別転入・転出者数、転入超過数(平成19年)

	転入者		転出者		転入超過 (A)-(B)
	実数(A)	構成比	実数(B)	構成比	
総数	32,049	100.0	40,200	100.0	△8,151
北海道	783	2.4	763	1.9	20
東北	8,331	26.0	8,941	22.2	△610
青森県	723	2.3	580	1.4	143
岩手県	906	2.8	850	2.1	56
宮城県	4,828	15.1	5,819	14.5	△991
秋田県	646	2.0	510	1.3	136
山形県	1,228	3.8	1,182	2.9	46
関東	14,659	45.7	22,047	54.8	△7,388
茨城県	1,641	5.1	2,149	5.3	△508
栃木県	1,306	4.1	1,830	4.6	△524
群馬県	383	1.2	554	1.4	△171
埼玉県	2,195	6.8	3,346	8.3	△1,151
千葉県	1,801	5.6	2,763	6.9	△962
東京都	4,835	15.1	7,798	19.4	△2,963
神奈川県	2,498	7.8	3,607	9.0	△1,109
中部	2,527	7.9	3,156	7.9	△629
新潟県	725	2.3	835	2.1	△110
近畿	950	3.0	1,202	3.0	△252
中国・四国	399	1.2	487	1.2	△88
九州・沖縄	622	1.9	699	1.7	△77
外国	3,778	11.8	2,905	7.2	873

(注1) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

図14 都道府県別転入者数(平成19年)

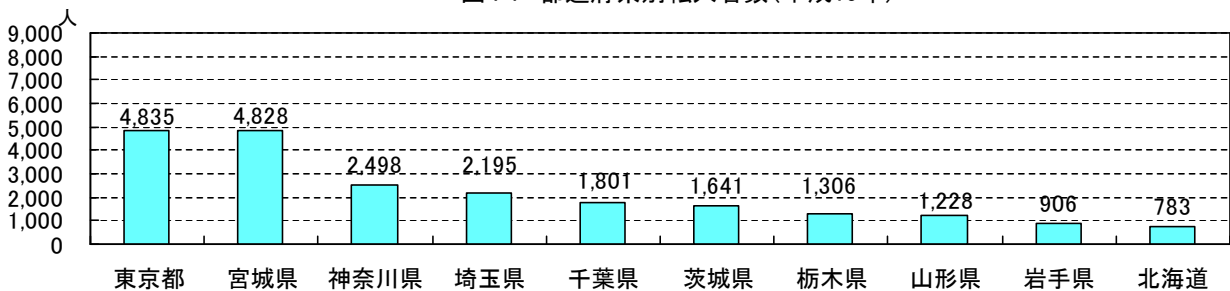
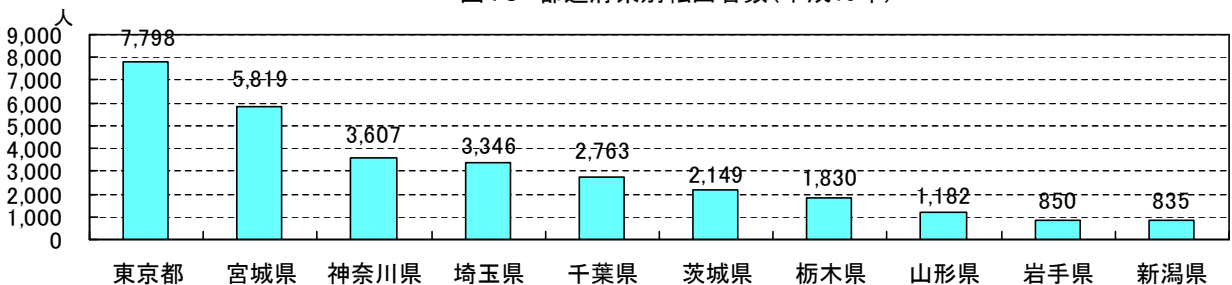


図15 都道府県別転出者数(平成19年)



(2) 方部別状況

方部別に県内の人口移動をみると、南会津及びいわきを除く5方部で、方部内移動が最も多くなっている。また、方部間の移動では、県北、県南、会津、いわきで県中との移動が最も多く、県中は県北、南会津は会津、相双は県北との移動が最も多い。

次に県外との人口移動をみると、県南、会津、南会津、いわき方部では東京都が転入、転出とも最も多く、県北、相双では宮城県が転入、転出とも最も多い。

表17 方部別県内移動者数（平成19年） (単位：人)

従前地	転出先	計	県北管内	県中管内	県南管内	会津管内	南会津管内	相双管内	いわき管内
計		30,908	8,135	9,327	2,868	4,408	512	3,195	2,463
県北管内		8,164	3,824	2,154	271	676	101	495	643
県中管内		8,673	1,942	3,937	757	783	90	320	844
県南管内		2,953	276	896	1,464	109	18	74	116
会津管内		4,822	806	980	147	2,291	185	126	287
南会津管内		657	108	132	35	246	76	17	43
相双管内		3,401	572	373	69	107	23	1,727	530
いわき管内		2,238	607	855	125	196	19	436	0

(注1) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

表18 方部別県外（他都道府県、外国）転入、転出者数（平成19年） (単位：人)

方部	転出先	県計	県北管内	県中管内	県南管内	会津管内	南会津管内	相双管内	いわき管内
総数	転入 転出 転入(出)超過	32,049 40,200 △ 8,151	7,663 9,724 △ 2,061	9,723 11,827 △ 2,104	2,599 2,904 △ 305	3,444 4,670 △ 1,226	326 470 △ 144	3,043 3,660 △ 617	5,251 6,945 △ 1,694
北海道	転入 転出 転入(出)超過	783 763 20	197 177 20	304 313 △ 9	58 50 8	50 49 1	5 10 △ 5	77 57 20	92 107 △ 15
東北計	転入 転出 転入(出)超過	8,331 8,941 △ 610	2,622 2,861 △ 239	2,744 2,787 △ 43	448 375 73	647 836 △ 189	42 41 1	847 971 △ 124	981 1,070 △ 89
青森県	転入 転出 転入(出)超過	723 580 143	189 179 10	251 188 63	49 41 8	49 30 19	6 0 6	75 68 7	104 74 30
岩手県	転入 転出 転入(出)超過	906 850 56	278 259 19	355 323 32	58 51 7	67 91 △ 24	6 1 5	44 48 △ 4	98 77 21
宮城県	転入 転出 転入(出)超過	② 4,828 ② 5,819 △ 991	① 1,499 ① 1,816 △ 317	① 1,521 ② 1,722 △ 201	211 203 8	③ 380 ② 536 △ 156	23 34 △ 11	① 618 ① 774 △ 156	④ 576 ③ 734 △ 158
秋田県	転入 転出 転入(出)超過	646 510 136	193 163 30	225 215 10	45 19 26	47 25 22	2 1 1	60 21 39	74 66 8
山形県	転入 転出 転入(出)超過	1,228 1,182 46	⑤ 463 444 19	392 339 53	85 61 24	104 154 △ 50	5 5 0	50 60 △ 10	129 119 10
関東計	転入 転出 転入(出)超過	14,659 22,047 △ 7,388	2,871 4,585 △ 1,714	4,190 6,163 △ 1,973	1,367 1,864 △ 497	1,801 2,800 △ 999	205 344 △ 139	1,409 1,952 △ 543	2,816 4,339 △ 1,523
茨城県	転入 転出 転入(出)超過	1,641 2,149 △ 508	226 295 △ 69	385 467 △ 82	119 178 △ 59	110 155 △ 45	9 18 △ 9	153 196 △ 43	③ 639 ② 840 △ 201
栃木県	転入 転出 転入(出)超過	1,306 1,830 △ 524	223 331 △ 108	431 588 △ 157	④ 241 ② 329 △ 88	179 229 △ 50	⑤ 25 ③ 50 △ 25	74 104 △ 30	133 199 △ 66
群馬県	転入 転出 転入(出)超過	383 554 △ 171	82 137 △ 55	146 176 △ 30	34 34 0	44 70 △ 26	6 8 △ 2	28 48 △ 20	43 81 △ 38
埼玉県	転入 転出 転入(出)超過	⑤ 2,195 ④ 3,346 △ 1,151	425 693 △ 268	⑤ 677 ③ 1,018 △ 341	③ 257 ③ 289 △ 32	⑤ 276 ④ 496 △ 220	② 46 ② 67 △ 21	46 ⑤ 255 △ 82	173 528 △ 187
千葉県	転入 転出 転入(出)超過	1,801 2,763 △ 962	291 549 △ 258	524 798 △ 274	123 179 △ 56	214 286 △ 72	23 ④ 49 △ 26	⑤ 204 ③ 323 △ 119	422 579 △ 157
東京都	転入 転出 転入(出)超過	① 4,835 ① 7,798 △ 2,963	② 1,072 ② 1,768 △ 696	② 1,319 ① 2,103 △ 784	① 381 ① 585 △ 204	① 647 ① 1,063 △ 416	① 62 ① 117 △ 55	② 550 ② 710 △ 160	① 804 ① 1,452 △ 648
神奈川県	転入 転出 転入(出)超過	④ 2,498 ③ 3,607 △ 1,109	④ 552 ③ 812 △ 260	④ 708 ④ 1,013 △ 305	⑤ 212 ④ 270 △ 58	④ 331 ③ 501 △ 170	③ 34 ⑤ 35 △ 1	④ 227 ④ 316 △ 89	⑤ 434 ④ 660 △ 226
新潟県	転入 転出 転入(出)超過	725 835 △ 110	144 161 △ 17	171 274 △ 103	43 30 13	167 187 △ 20	16 12 4	95 78 17	89 93 △ 4
外国	転入 転出 転入(出)超過	③ 3,778 ⑤ 2,905 873	③ 937 ④ 776 161	③ 1,086 789 297	② 342 ⑤ 222 120	② 404 252 152	④ 31 20 11	③ 312 253 59	② 666 ⑤ 593 73
その他	転入 転出 転入(出)超過	3,773 4,709 △ 936	892 1,164 △ 272	1,228 1,501 △ 273	341 363 △ 22	375 546 △ 171	27 43 △ 16	303 349 △ 46	607 743 △ 136

(注1) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

(3) 市町村別状況

移動者の県内、県外割合をみると、市部においては県外移動者の割合が過半数を占めるのに対して、郡部においては県内移動者の割合が6割近くを占めている。

また、市部において移動者総数に占める県内移動者の割合が最も高いのは本宮市で64.3%、一方、県外移動者の割合が最も高いのはいわき市で72.2%となっている。

表19 移動者の県内、県外別割合（平成19年）

(単位：人、%)

	移動者 総数(A)	県内移動				県外移動			
		転入	転出	計(B)	割合 (B)/(A)	転入	転出	計(C)	割合 (C)/(A)
市計	104,344	22,846	21,585	44,431	42.6	26,597	33,316	59,913	57.4
福島市	21,369	4,713	4,176	8,889	41.6	5,614	6,866	12,480	58.4
会津若松市	9,173	2,281	2,266	4,547	49.6	1,982	2,644	4,626	50.4
郡山市	26,201	5,474	4,486	9,960	38.0	7,415	8,826	16,241	62.0
いわき市	16,897	2,463	2,238	4,701	27.8	5,251	6,945	12,196	72.2
白河市	4,907	1,159	1,161	2,320	47.3	1,251	1,336	2,587	52.7
須賀川市	5,134	1,599	1,449	3,048	59.4	916	1,170	2,086	40.6
喜多方市	2,987	742	843	1,585	53.1	561	841	1,402	46.9
相馬市	2,696	528	544	1,072	39.8	794	830	1,624	60.2
二本松市	3,481	790	1,069	1,859	53.4	654	968	1,622	46.6
田村市	2,034	518	626	1,144	56.2	402	488	890	43.8
南相馬市	3,891	918	974	1,892	48.6	840	1,159	1,999	51.4
伊達市	3,481	939	1,129	2,068	59.4	592	821	1,413	40.6
本宮市	2,093	722	624	1,346	64.3	325	422	747	35.7
町村計	29,721	8,062	9,323	17,385	58.5	5,452	6,884	12,336	41.5

(注) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

表20 移動者の主な従前地・転出先－13市（平成19年）

(単位：人)

市名	順位	1			2			3		
		1	2	3	1	2	3	1	2	3
福島市	転入	宮城県	郡山市	東京都	相馬市	転入	宮城県	南相馬市	東京都	
	転出	宮城県	東京都	郡山市		転出	宮城県	南相馬市	東京都	
会津若松市	転入	郡山市	東京都	福島市	二本松市	転入	福島市	郡山市	外国	
	転出	東京都	郡山市	福島市		転出	福島市	郡山市	東京都	
郡山市	転入	宮城県	福島市	東京都	田村市	転入	郡山市	外国	東京都	
	転出	東京都	宮城県	福島市		転出	郡山市	東京都	外国	
いわき市	転入	東京都	外国	茨城県	南相馬市	転入	宮城県	相馬市	福島市	
	転出	東京都	茨城県	宮城県		転出	宮城県	福島市	東京都	
白河市	転入	西郷村	東京都	郡山市	伊達市	転入	福島市	宮城県	外国	
	転出	西郷村	東京都	郡山市		転出	福島市	東京都	宮城県	
須賀川市	転入	郡山市	福島市	東京都	本宮市	転入	郡山市	二本松市	福島市	
	転出	郡山市	東京都	福島市		転出	郡山市	東京都	二本松市	
喜多方市	転入	会津若松市	東京都	郡山市						
	転出	会津若松市	東京都	郡山市						

3 年齢別移動者数

年齢別にみると、転入超過となっているのは55～64歳（223人）のみで、他はすべての年齢階級で転出超過となっている。

特に15～19歳（△3,001人）、20～24歳（△3,281人）において転出超過が大きく、これらの年齢階級で、全転出超過の約77%を占めている。

図 16 年齢別県外移動者数（平成19年）

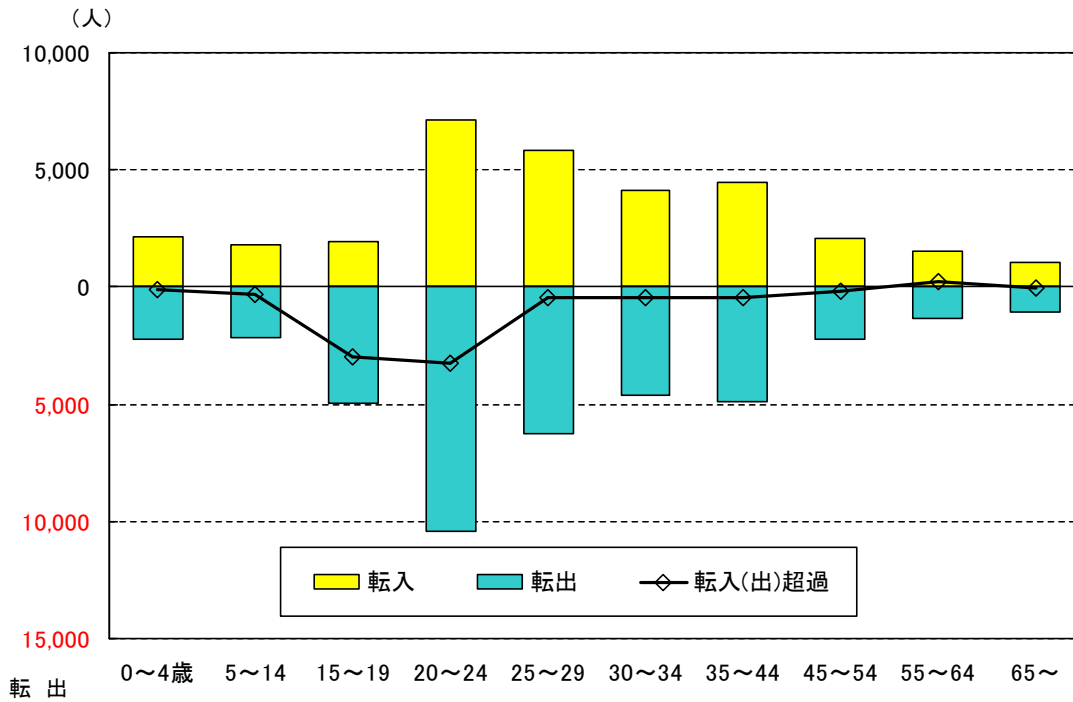


表 2 1 年齢階級別移動者数（平成19年）

年	区分	総数	0～4歳	5～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～44	45～54	55～64	65～		
19年	移動者総数	総数	103,157	7,443	6,016	8,465	22,621	17,764	13,130	13,486	6,603	4,305	3,324	
		(男)	54,769	3,824	3,071	4,615	11,547	8,681	6,780	7,952	4,324	2,717	1,258	
		(女)	48,388	3,619	2,945	3,850	11,074	9,083	6,350	5,534	2,279	1,588	2,066	
	県内移動者 1)	総数	30,908	3,061	2,042	1,584	5,106	5,650	4,430	4,125	2,304	1,400	1,206	
		(男)	15,569	1,566	1,015	768	2,235	2,503	2,267	2,394	1,496	909	416	
		(女)	15,339	1,495	1,027	816	2,871	3,147	2,163	1,731	808	491	790	
	県外移動者 2)	転入	総数	32,049	2,127	1,821	1,940	7,117	5,845	4,114	4,439	2,044	1,564	1,038
			(男)	17,592	1,101	949	1,041	3,903	2,990	2,164	2,694	1,333	970	447
			(女)	14,457	1,026	872	899	3,214	2,855	1,950	1,745	711	594	591
		転出	総数	40,200	2,255	2,153	4,941	10,398	6,269	4,586	4,922	2,255	1,341	1,080
(男)			21,608	1,157	1,107	2,806	5,409	3,188	2,349	2,864	1,495	838	395	
(女)			18,592	1,098	1,046	2,135	4,989	3,081	2,237	2,058	760	503	685	
転入(出)超過	総数	△8,151	△128	△332	△3,001	△3,281	△424	△472	△483	△211	223	△42		
	(男)	△4,016	△56	△158	△1,765	△1,506	△198	△185	△170	△162	132	52		
	(女)	△4,135	△72	△174	△1,236	△1,775	△226	△287	△313	△49	91	△94		
18年	県外移動者 2)	転入	32,753	2,222	1,916	1,953	7,151	5,907	4,271	4,435	2,108	1,733	1,057	
		転出	40,598	2,327	2,094	4,855	10,446	6,450	4,718	4,914	2,311	1,326	1,157	
		転入(出)超過	△7,845	△105	△178	△2,902	△3,295	△543	△447	△479	△203	407	△100	
17年	県外移動者 2)	転入	34,846	2,231	1,922	2,106	8,038	6,592	4,643	4,424	2,231	1,612	1,047	
		転出	40,987	2,352	2,047	5,048	10,313	6,977	4,898	4,784	2,239	1,241	1,088	
		転入(出)超過	△6,141	△121	△125	△2,942	△2,275	△385	△255	△360	△8	371	△41	
16年	県外移動者 2)	転入	36,210	2,446	2,083	2,340	8,326	6,837	4,572	4,548	2,379	1,632	1,047	
		転出	42,351	2,524	2,271	5,469	10,338	7,280	4,854	4,845	2,432	1,281	1,057	
		転入(出)超過	△6,141	△78	△188	△3,129	△2,012	△443	△282	△297	△53	351	△10	
15年	県外移動者 2)	転入	36,996	2,556	2,278	2,383	8,704	6,748	4,582	4,609	2,453	1,633	1,050	
		転出	43,326	2,632	2,410	5,989	10,419	7,252	4,889	4,847	2,484	1,313	1,091	
		転入(出)超過	△6,330	△76	△132	△3,606	△1,715	△504	△307	△238	△31	320	△41	

1) 統計表の「社会動態」の「転入」・「転出」の「県内」移動者数 2) 統計表の「社会動態」の「その他」は含まない。

第4 最近10年の人口の推移

最近10年の人口の推移をみると、市部は平成11年までは増加していたが、平成12年には減少に転じ、平成13年にはわずかに増加したものの平成14年からは減少が続いている。

一方、郡部では平成10年から毎年減少が続いている。

県全体の人口も平成10年以降は減少が続いている。

人口が増加しているのは、県中及び県南地方の都市部地域の市町村で、対照的に会津、阿武隈地域の町村では大幅な減少となっている。

平成10年と19年を比較すると、54市町村で人口が減少しており、うち18町村では10%以上減少している。

< 表22の見方 >

表の右の折れ線グラフは、平成10年の人口を基準値として、平成19年まで毎年の人口の推移を表したものである。

グラフの増減割合の表示は、増減とも20%が上限であり、20%以上の大幅な増減があった場合は表示されない。

表22 市町村人口の推移（平成10年～19年、各年10月1日現在）

年	平成10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	平成10年からの人口の推移
県計	2,136,629	2,134,671	2,126,935	2,124,404	2,119,382	2,112,489	2,104,850	2,091,319	2,080,186	2,068,352	-3.2%
市部	1,655,024	1,655,915	1,654,101	1,654,174	1,652,247	1,648,553	1,644,199	1,636,605	1,629,888	1,622,957	-1.9%
郡部	481,605	478,756	472,834	470,230	467,135	463,936	460,651	454,714	450,298	445,395	-7.5%
県北管内	518,967	519,324	518,385	517,828	516,028	514,230	512,479	510,792	508,349	505,531	-2.6%
福島市	288,806	290,199	291,121	291,580	291,181	290,944	290,575	290,869	290,059	289,343	0.2%
二本松市	66,800	66,434	66,077	65,769	65,354	64,681	64,166	63,178	62,612	61,833	-7.4%
伊達市	72,872	72,551	71,817	71,395	70,885	70,481	69,931	69,289	68,406	67,643	-7.2%
本宮市	31,543	31,650	31,541	31,558	31,367	31,254	31,170	31,367	31,647	31,737	0.6%
伊達郡計	50,485	50,023	49,422	49,097	48,779	48,439	48,225	47,625	47,159	46,555	-7.8%
桑折町	13,953	13,853	13,700	13,597	13,553	13,559	13,525	13,411	13,351	13,290	-4.8%

表 2 2 市町村人口の推移（平成10年～19年、各年10月1日現在）

年 市町村	平成 10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	平成10年からの人口の推移
国見町	11,423	11,335	11,198	11,111	11,024	10,928	10,867	10,692	10,577	10,482	-8.2%
川俣町	18,254	18,036	17,751	17,650	17,505	17,309	17,228	17,034	16,807	16,431	-10.0%
飯野町	6,855	6,799	6,773	6,739	6,697	6,643	6,605	6,488	6,424	6,352	-7.3%
安達郡計	8,461	8,467	8,407	8,429	8,462	8,431	8,412	8,464	8,466	8,420	-0.5%
大玉村	8,461	8,467	8,407	8,429	8,462	8,431	8,412	8,464	8,466	8,420	-0.5%
県中管内	559,643	560,927	561,254	562,108	562,640	562,676	562,762	560,826	559,691	558,249	-0.2%
郡山市	331,525	333,201	334,824	336,044	337,678	338,289	339,248	338,834	339,071	339,157	2.3%
須賀川市	78,394	78,883	79,409	79,937	79,946	80,211	80,335	80,364	80,444	80,324	2.5%
田村市	45,583	45,255	45,052	44,809	44,494	44,243	43,941	43,253	42,743	42,351	-7.1%
岩瀬郡計	19,783	19,769	19,632	19,517	19,411	19,415	19,376	19,232	19,174	19,063	-3.6%
鏡石町	12,722	12,748	12,743	12,683	12,627	12,698	12,700	12,746	12,742	12,707	-8.2%
天栄村	7,061	7,021	6,889	6,834	6,784	6,717	6,676	6,486	6,432	6,356	-10.0%
石川郡計	51,047	50,629	49,806	49,423	49,033	48,651	48,278	47,844	47,255	46,715	-8.5%
石川町	20,548	20,319	19,914	19,666	19,508	19,322	19,076	18,921	18,778	18,578	-9.6%
玉川村	7,630	7,607	7,680	7,649	7,588	7,567	7,601	7,602	7,534	7,501	-1.7%

表 2 2 市町村人口の推移（平成10年～19年、各年10月1日現在）

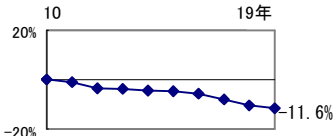
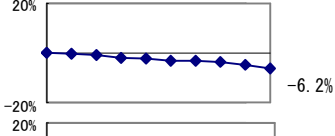
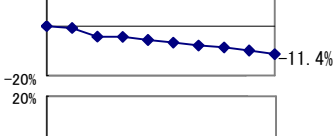
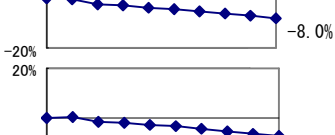
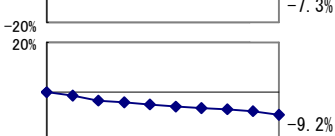
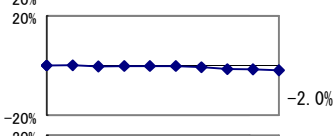
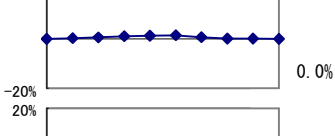
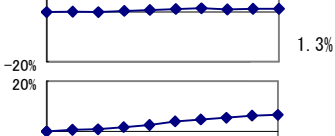
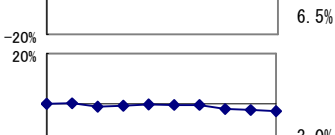
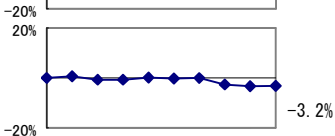
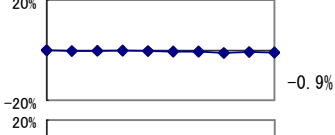
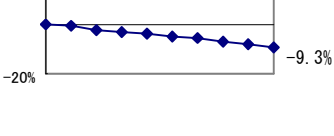


年	平成10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
市町村												
平田村	8,198	8,112	7,910	7,894	7,837	7,810	7,728	7,538	7,343	7,245		
浅川町	7,548	7,522	7,484	7,401	7,379	7,307	7,306	7,272	7,182	7,077		
古殿町	7,123	7,069	6,818	6,813	6,721	6,645	6,567	6,511	6,418	6,314		
田村郡計	33,311	33,190	32,531	32,378	32,078	31,867	31,584	31,299	31,004	30,639		
三春町	20,305	20,366	19,976	19,910	19,719	19,621	19,418	19,194	19,003	18,826		
小野町	13,006	12,824	12,555	12,468	12,359	12,246	12,166	12,105	12,001	11,813		
泉南管内	155,626	155,664	155,015	155,277	155,307	155,187	154,563	153,347	153,132	152,517		
白河市	65,704	65,866	66,048	66,380	66,517	66,630	66,119	65,707	65,763	65,689		
西白河郡計	49,659	49,754	49,631	49,852	50,048	50,255	50,414	50,164	50,332	50,314		
西郷村	18,499	18,614	18,642	18,807	18,977	19,233	19,380	19,494	19,661	19,706		
泉崎村	6,908	6,916	6,823	6,853	6,882	6,874	6,874	6,761	6,734	6,702		
中島村	5,314	5,346	5,274	5,276	5,320	5,302	5,313	5,174	5,140	5,145		
矢吹町	18,938	18,878	18,892	18,916	18,869	18,846	18,847	18,735	18,797	18,761		
東白川郡計	40,263	40,044	39,336	39,045	38,742	38,302	38,030	37,476	37,037	36,514		

表 2 2 市町村人口の推移（平成10年～19年、各年10月1日現在）

年	平成10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	平成10年からの人口の推移
市町村											
棚倉町	16,580	16,597	16,376	16,273	16,173	15,998	15,948	15,795	15,633	15,531	-6.3%
矢祭町	7,238	7,212	7,062	7,032	7,007	6,907	6,841	6,740	6,714	6,588	-9.0%
塙町	11,654	11,491	11,296	11,174	11,069	10,934	10,789	10,619	10,454	10,274	-11.8%
鮫川村	4,791	4,744	4,602	4,566	4,493	4,463	4,452	4,322	4,236	4,121	-14.0%
会津管内	294,357	292,489	290,412	288,958	286,866	284,687	282,214	278,018	274,649	271,634	-7.7%
会津若松市	136,396	135,856	135,415	135,216	134,560	133,721	132,976	131,389	130,349	129,441	-5.1%
喜多方市	59,182	58,845	58,571	58,201	57,922	57,652	57,096	56,396	55,547	54,817	-7.4%
耶麻郡計	36,004	35,646	35,006	34,596	34,143	33,637	33,157	32,672	32,159	31,606	-12.2%
北塩原村	3,692	3,661	3,644	3,545	3,541	3,526	3,464	3,475	3,429	3,412	-7.6%
西会津町	9,505	9,356	9,075	8,977	8,828	8,663	8,484	8,237	8,064	7,861	-17.3%
磐梯町	4,303	4,248	4,109	4,128	4,032	3,965	3,935	3,951	3,917	3,897	-9.4%
猪苗代町	18,504	18,381	18,178	17,946	17,742	17,483	17,274	17,009	16,749	16,436	-11.2%
河沼郡計	28,218	27,958	27,696	27,472	27,174	27,006	26,753	26,104	25,738	25,416	-9.9%
会津坂下町	19,657	19,534	19,426	19,274	19,054	18,918	18,710	18,274	18,046	17,843	-9.2%
湯川村	3,613	3,590	3,601	3,608	3,590	3,611	3,633	3,570	3,546	3,505	-3.0%

表 2 2 市町村人口の推移（平成10年～19年、各年10月1日現在）

年	平成 10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	平成10年からの人口の推移
市町村											
柳津町	4,948	4,834	4,669	4,590	4,530	4,477	4,410	4,260	4,146	4,068	-17.8%
大沼郡計	34,557	34,184	33,724	33,473	33,067	32,671	32,232	31,457	30,856	30,354	-12.2%
三島町	2,548	2,522	2,474	2,441	2,395	2,344	2,313	2,250	2,190	2,140	-16.0%
金山町	3,338	3,255	3,204	3,153	3,084	3,010	2,935	2,834	2,760	2,664	-20.2%
昭和村	1,928	1,869	1,874	1,832	1,787	1,752	1,681	1,632	1,585	1,539	-20.2%
会津美里町	26,743	26,538	26,172	26,047	25,801	25,565	25,303	24,741	24,321	24,011	-10.2%
南会津管内	35,724	35,396	34,988	34,614	34,259	33,894	33,436	32,913	32,420	31,773	-11.1%
南会津郡計	35,724	35,396	34,988	34,614	34,259	33,894	33,436	32,913	32,420	31,773	-11.1%
下郷町	7,702	7,596	7,579	7,442	7,368	7,285	7,211	7,053	6,963	6,783	-11.9%
檜枝岐村	751	771	757	746	733	731	740	706	694	682	-9.2%
只見町	5,789	5,684	5,557	5,545	5,493	5,443	5,339	5,284	5,232	5,185	-10.4%
南会津町	21,482	21,345	21,095	20,881	20,665	20,435	20,146	19,870	19,531	19,123	-11.0%
相双管内	210,310	209,490	206,743	206,037	205,197	204,397	203,231	200,931	199,585	198,390	-5.7%
相馬市	39,468	39,397	38,842	38,894	38,735	38,750	38,624	38,630	38,523	38,548	-2.3%
南相馬市	76,749	76,397	75,246	74,809	74,523	74,279	73,853	72,837	72,364	71,816	-6.4%

表 2 2 市町村人口の推移（平成10年～19年、各年10月1日現在）

年	平成10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	平成10年からの人口の推移
市町村											10 19年
双葉郡計	77,645	77,437	76,545	76,335	76,008	75,559	75,101	74,158	73,633	73,150	-5.8%
広野町	5,944	5,966	5,813	5,845	5,797	5,691	5,581	5,533	5,493	5,490	-7.6%
檜葉町	8,583	8,545	8,380	8,360	8,327	8,257	8,208	8,188	8,054	7,975	-7.1%
富岡町	16,078	16,107	16,173	16,232	16,230	16,150	16,091	15,910	15,897	15,849	-1.4%
川内村	3,578	3,513	3,384	3,338	3,266	3,259	3,165	3,125	3,081	3,049	-14.8%
大熊町	10,848	10,905	10,803	10,847	10,824	10,865	10,995	10,992	11,044	11,101	2.3%
双葉町	7,963	7,924	7,647	7,544	7,486	7,446	7,381	7,170	7,095	7,030	-11.7%
浪江町	22,882	22,708	22,609	22,482	22,400	22,224	22,053	21,615	21,368	21,101	-7.8%
葛尾村	1,769	1,769	1,736	1,687	1,678	1,667	1,627	1,625	1,601	1,555	-12.1%
相馬郡計	16,448	16,259	16,110	15,999	15,931	15,809	15,653	15,306	15,065	14,876	-9.6%
新地町	9,121	9,047	9,017	8,987	8,970	8,908	8,822	8,584	8,499	8,436	-7.5%
飯館村	7,327	7,212	7,093	7,012	6,961	6,901	6,831	6,722	6,566	6,440	-12.1%
いわき管内	362,002	361,381	360,138	359,582	359,085	357,418	356,165	354,492	352,360	350,258	-3.2%
いわき市	362,002	361,381	360,138	359,582	359,085	357,418	356,165	354,492	352,360	350,258	-3.2%

注 合併した市町村の人口は、平成19年10月1日現在の市町村区域に基づき組み替えている。

V 統計表

【お願い】

本書から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、「**福島県情報統計領域編「福島県の推計人口」から抜粋（又は作成）**」と記入してください。

「福島県の推計人口」は、インターネットでも提供しています。

ホームページ 「ふくしま情報統計BOX」

アドレス <http://www.pref.fukushima.jp/toukei/>

福島県の推計人口（平成19年版）

平成20年3月発行

編集・発行

福島県 企画調整部

情報統計領域 統計調査グループ

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話024(521)7145
